

3-3 多機能トイレ等の整備事例

3-3-1 東急ストアの改修例（建築物）	III-175
(1) 概要	III-175
(2) トイレの改修	III-176
①建物全体での利用分散の考え方	III-176
②トイレスペースにおける利用分散の取り組み（2階）	III-177
③トイレスペースにおける利用分散の取り組み（3階）	III-179
3-3-2 京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターの改修事例（建築物）	III-181
(1) 取組の概要	III-181
①京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターの概要	III-181
②トイレ改修の経緯	III-181
③トイレの設計に対する基本的な考え方	III-181
④トイレ整備の成果（受賞・表彰）	III-182
⑤多機能トイレ、乳児用設備の配置状況	III-182
(2) 各フロアのトイレ紹介（B館京王百貨店）	III-183
①2階トイレ（2002改修）	III-183
②7階トイレ（2002改修）	III-185
③3階トイレ（2002改修）	III-186
④5階トイレ（2003改修）	III-187
⑤6階トイレ（2003改修）	III-189
⑥8階トイレ（2003改修）	III-189
⑦4階トイレ（2005改修）	III-190
⑧8階トイレ（2006改修）	III-191
3-3-3 イオンレイクタウンにおけるユニバーサルデザイントイレの取り組み（建築物）	III-193
(1) 施設概要	III-193
(2) ユニバーサルデザインの取り組み	III-193
①取り組みの経緯	III-193
②ユニバーサルデザインのキーワード	III-193
③イオンレイクタウンのユニバーサルデザイントイレの整備	III-194
④「イオンレイクタウン kaze」のユニバーサルデザイントイレの整備	III-195
⑤「イオンレイクタウン mori」のユニバーサルデザイントイレにおける子ども連れへの 配慮	III-197
⑥わかりやすい表示	III-199
3-3-4 新宿区戸塚地域センターにおける利用者の意見を踏まえたトイレの整備（建築物）	III-200
(1) 取り組みの概要	III-200
①建設準備会における協議	III-200
②利用者の意見を踏まえた多機能トイレ等の実現	III-200

③意見要望の引用抜粋.....	III-200
(2) トイレの整備.....	III-201
①各階ごとに異なるトイレの整備.....	III-201
②7階トイレ.....	III-201
③6階のトイレ.....	III-202
④5階のトイレ.....	III-202
⑤4階のトイレ.....	III-203
⑥3階のトイレ.....	III-203
⑦1階のトイレ.....	III-204
3-3-5 JR京葉線東京駅の改修例（旅客施設）.....	III-205
（1）改修の主な特徴.....	III-205
（2）改修の状況（写真）.....	III-206
3-3-6 高速道路のSA・PAにおける利用分散の例.....	III-208
（1）概要.....	III-208
（2）利用者数に応じた広さの確保（算定ノウハウ）.....	III-209
（3）トイレの標準図.....	III-209
①多機能トイレ（出入口便器前方タイプ）.....	III-209
②一般トイレ内 オストメイト対応ブース.....	III-210
③一般トイレ内 大型ブース.....	III-210
（4）海老名サービスエリアにおける整備.....	III-211
①海老名サービスエリア（下り）小型車側トイレの改修前と改修後.....	III-211
②海老名サービスエリア（下り）大型車側トイレの改修前と改修後.....	III-212
③改修前、改修後の便器数.....	III-212
④事例写真.....	III-213

3-3-1 東急ストアの改修例（建築物）

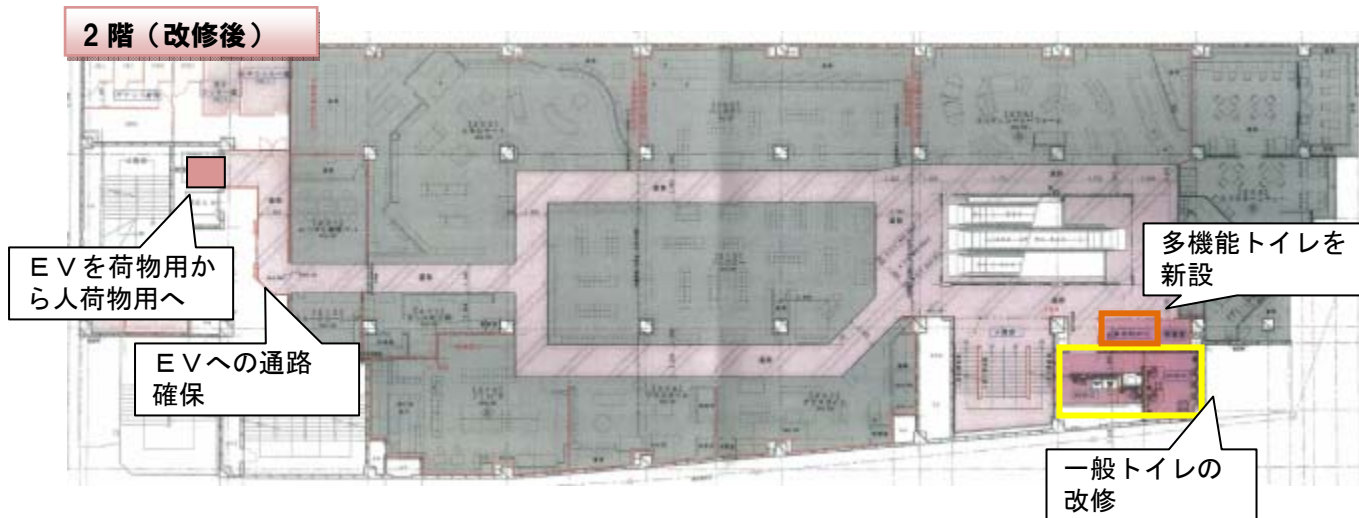
（1）概要

- ・ 駅前にあるGMS¹型店舗を全面的に改修し、SC型とした。ワンフロアは約1,700㎡
- ・ 1階に食品スーパー、2～3階にテナント、4階にカルチャースクールで構成されている。
- ・ 荷物用エレベーター2基のうち、1基を人荷用にし、売り場までの通路を確保し、バリアフリー化を図った。

2階（改修前）



2階（改修後）

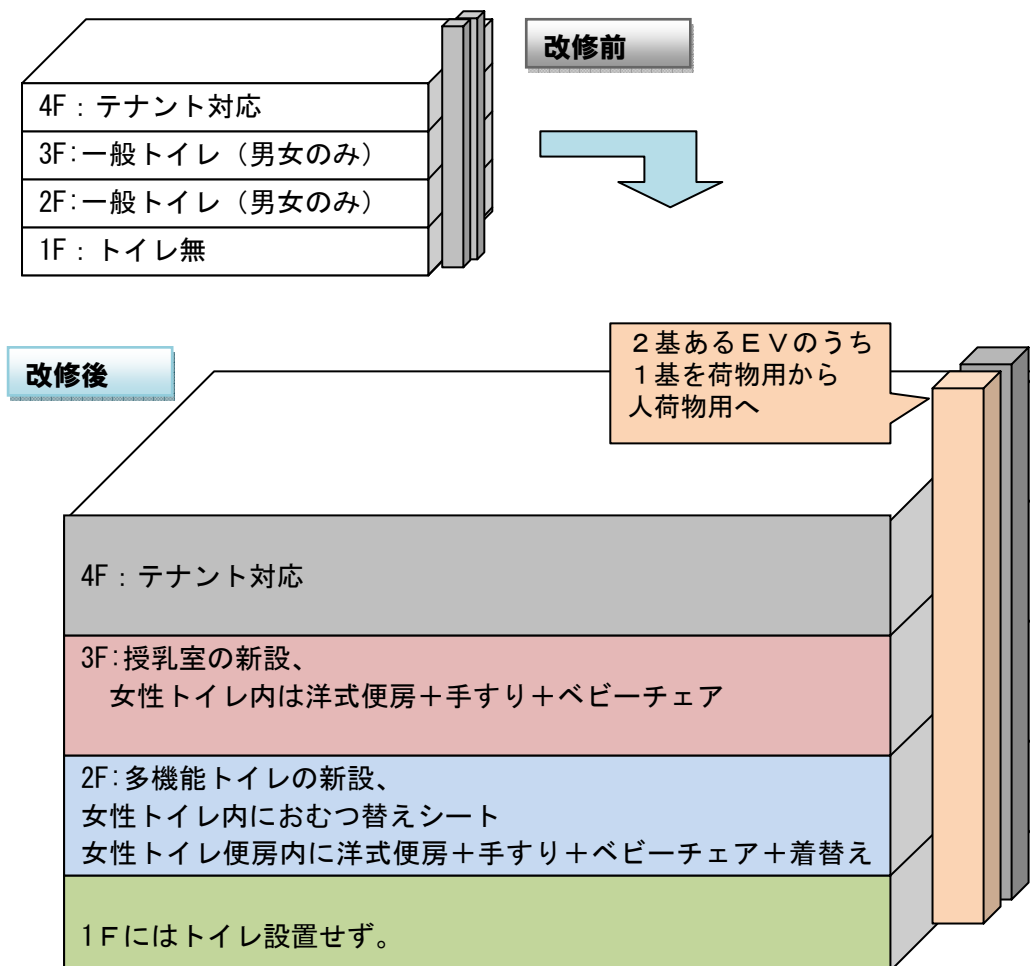


¹GMS（General Merchandise Store：総合スーパー）GMSとは、日用品を中心に商品を総合的にそろえた大規模小売店のこと。量販店ともいわれる。

(2) トイレの改修

①建物全体での利用分散の考え方

- ・ 制約条件として、駅前立地の施設であり、建物規模は中規模である。そのため、広いトイレスペースの確保は困難であり、従前のトイレスペースを最大限活用した改修となっている。
- ・ 1階の食品スーパー内ではトイレが従前から設置されておらず、今回の改修でも設置は行っていない。
- ・ 一方、2階の一般トイレ前のスペースには多機能トイレを新設し、車いす使用者、オストメイトを含む多様な利用者への配慮を行っている。また、あわせて従来なかったエレベーターでの動線を確認した。
- ・ 3階は子供服のテナントが出店予定であることから、子ども連れの利用者が多いことを想定し、一般トイレの前のスペースにベビー休憩室・授乳室を新設した。

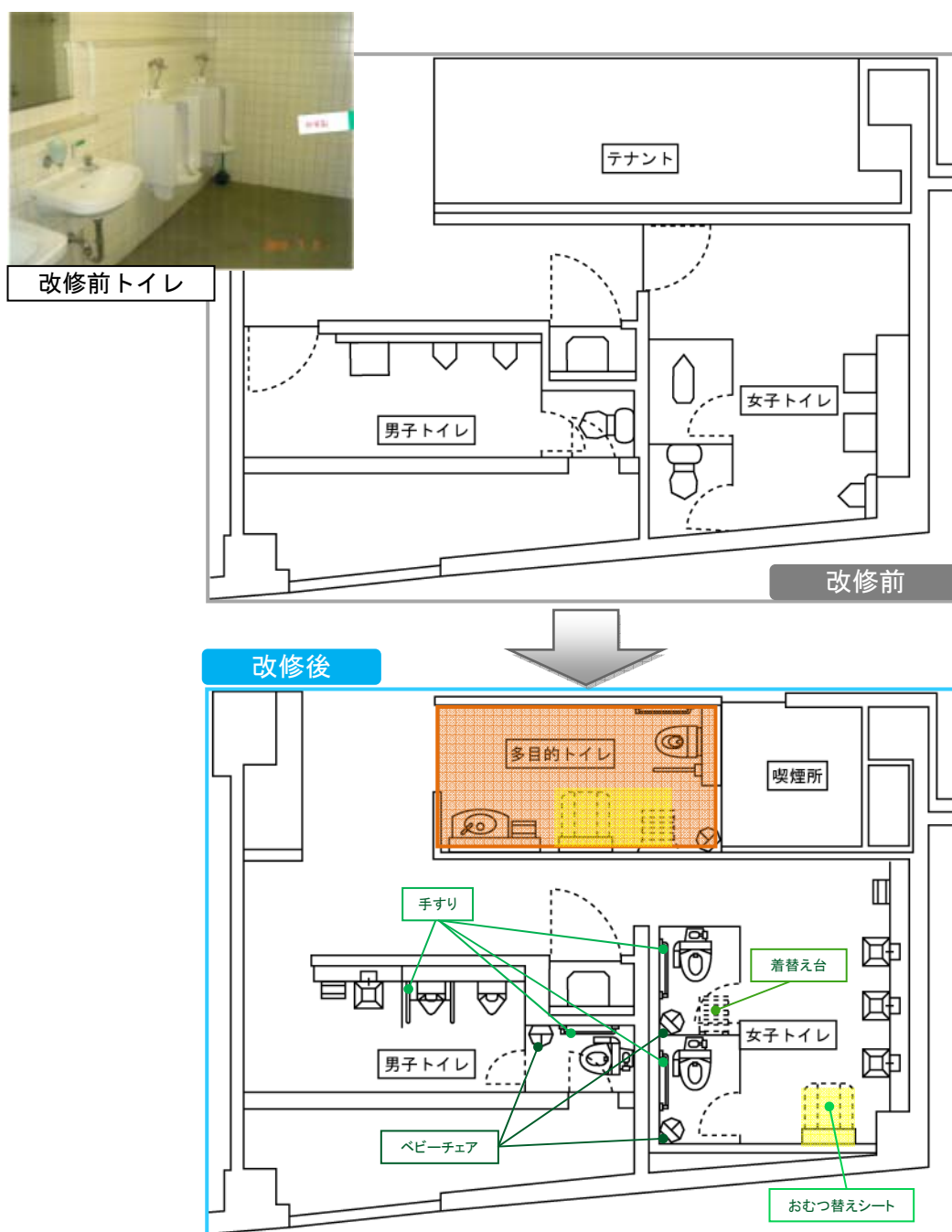


②トイレスペースにおける利用分散の取り組み（2階）

- ・ 新設された多機能トイレは、車いす使用者、オストメイトを含む多様な利用者が利用可能である。
- ・ 施設の立地上、利用が多いと想定される子ども連れや高齢者に対しては、以下のように一般トイレでの配慮を充実させており、これにより、多機能トイレのみに利用が集中することなく、利用分散を実現することが可能となる。

【一般便房内への配慮事項と利用分散】

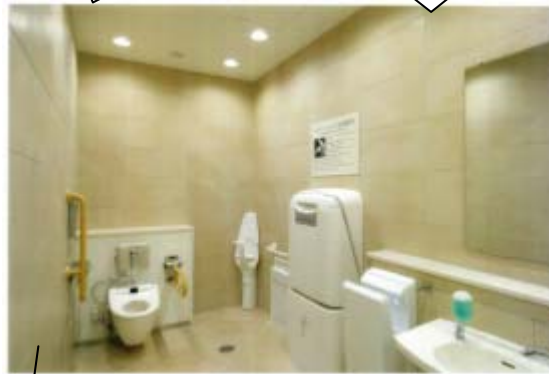
対象	配慮事項	洋式化 (男女)	手すりの設置 (大便器・小便器)	おむつ替えシ ートの設置	ベビーチェア の設置	着替え台の設 置
子ども連れ		○	○	◎	◎	◎
高齢者		◎	◎	-	-	-



【改修後の2Fトイレ】



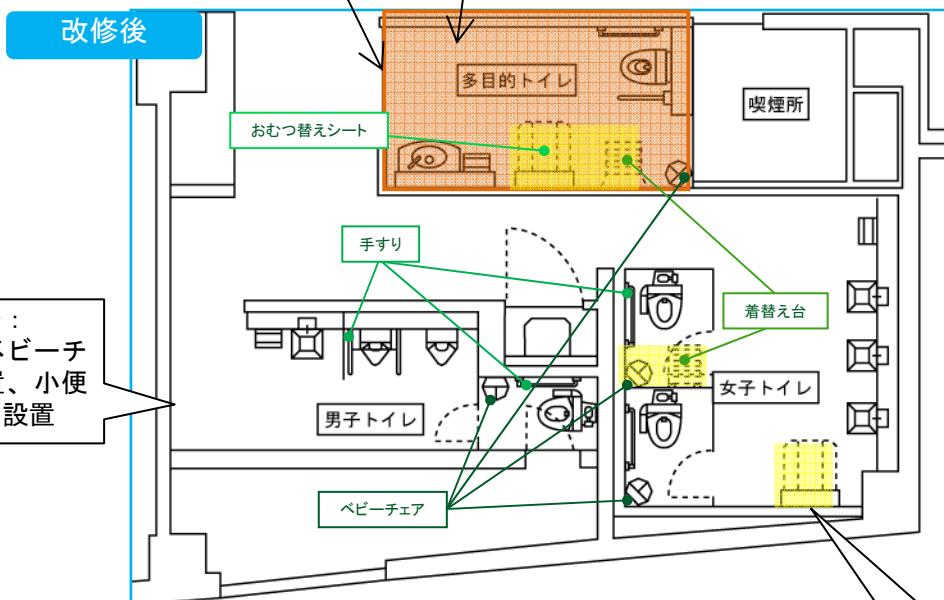
多機能トイレの出入り口



多機能トイレの内部

多機能トイレ：
背もたれ一体型の
オストメイト簡易
型設備、着替え台

多機能トイレ：
おむつ替えシート、着替え
台、ベビーチェアを設置、
ベビーカーゴと入れる十分
なスペースを確保



男性トイレ：
洋式化、ベビーチ
ェアの設置、小便
器の手すり設置

女性トイレ内：
おむつ替えシー
トの設置

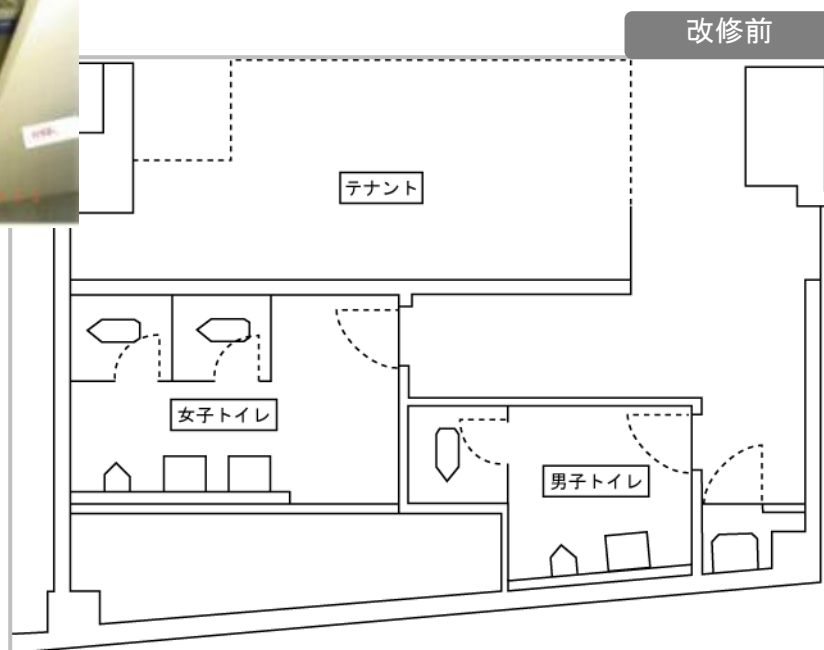


改修後2F女性トイレ

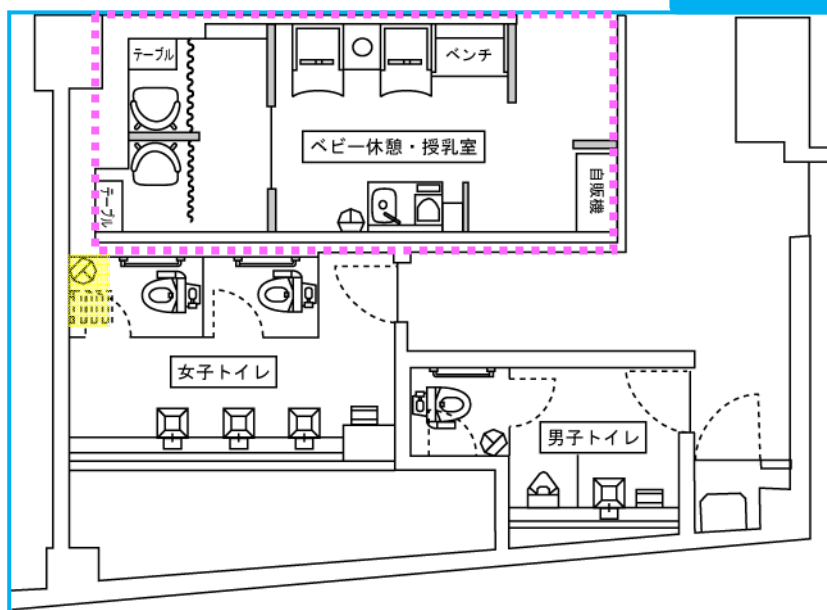
③トイレスペースにおける利用分散の取り組み（3階）

- ・ 3階は子供服のテナントが出店予定であることから、子ども連れの利用者が多いことを想定し、一般トイレの前のスペースにベビー休憩室・授乳室を新設された。これにより、授乳やおむつ替えが必要な（比較的小さな）子ども連れにとって使いやすい施設が実現している。
- ・ また、ここでは隣接するベビー休憩室でのおむつ替えが可能であるため、女性トイレ内にはおむつ替えシートは設置せず、パウダーコーナーを充実させている。

改修前トイレ



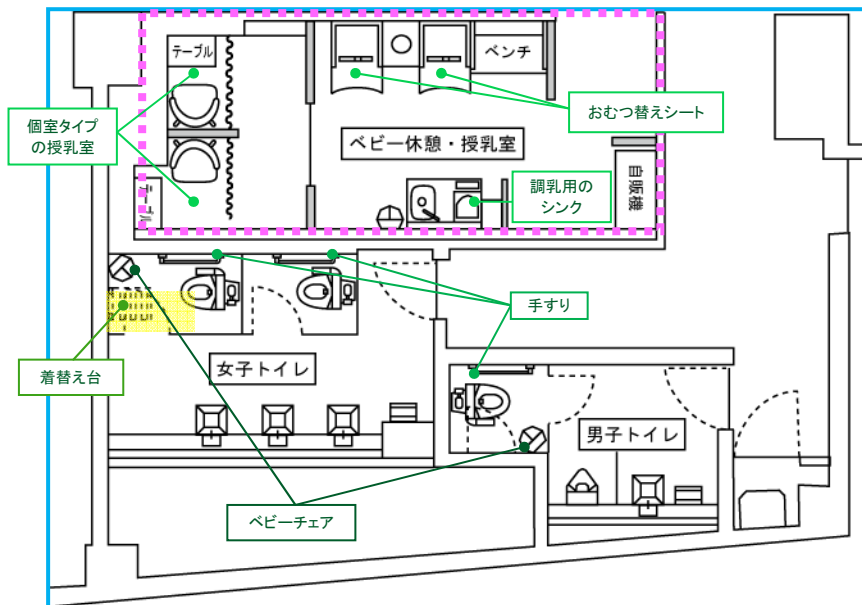
改修後



【改修後の3Fトイレ】



ベビー休憩室・授乳室：
おむつ替え台、調乳用のシンク等の
奥に個室タイプの授乳室が設置され
ている。



男性トイレ内：
小便器への手すり設置

女性トイレ内便房：
洋式化，
手すりの設置，
ベビーチェアの設置，
着替え台の設置

男性トイレ内便房：
洋式化，
手すりの設置，
ベビーチェアの設置



改修後3F男性トイレ

3-3-2 京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターの改修事例（建築物）

（1）取組の概要

①京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターの概要

- ・ グループ流通企業をキーテナントに据える、京王として最大規模（10万㎡）の総合ショッピングセンター（以下、「SC」と略す）。
- ・ 京王電鉄聖蹟桜ヶ丘駅の両側にある駅ビルで、A・B・Cの3つの棟で構成。

}	A館 京王ストアと京王アートマンを中心にした専門店街
	B館 京王百貨店聖蹟桜ヶ丘店
	C館 レストラン街と駐車場棟

- ・ 平日は約6万人、休日で7～8万人の来店者がある。50～60代の顧客が多い。
- ・ 1986年に開業し、昨年25周年を迎えた。



②トイレ改修の経緯

- ・ 1999年、京王聖蹟桜ヶ丘SCに隣接して建設された商業施設がオープンしたことから、お客様アンケート調査を行った。その結果、「買い物は京王聖蹟桜ヶ丘SCだが、トイレは化粧コーナーのある隣接した商業施設を使う。」との意見を得たことがきっかけとなる。
- ・ フロア改装を行った2004年を除く2002年から2006年の4年間で主要なトイレの改修を実施。
- ・ トイレ改修を始めるにあたり、障害者、学識者、メーカー、行政等で構成するユニバーサルデザイン会議を2002年6月に開催し、トイレに関する意見や要望をいただく。整備後（2002年9月）に検証。その後、改修を行うたびに視察を実施。

③トイレの設計に対する基本的な考え方

- ・ 全ての人にとって可能な限り使いやすいユニバーサルデザインの考え方に加え、SCにとって大切な販売促進の一環として、トイレに“楽しさ”というエンターテインメント性を持たせる。
- ・ そこで各フロアの特性に応じてトイレのコンセプトを設定するとともに、デザイン等にも工夫を凝らし、買い物客が“ほっ”とできる“お気に入りのトイレ”を選んでもらうよう設計。

表 3-3-1 各フロアのコンセプト（B館京王百貨店）

	フロア構成	コンセプト
8階	レストラン	「アヴァンギャルドとクラシズムの融合」 「至高の素材を楽しむ空間」
7階	ベビー、子供服、おもちゃ	「夢・遊び心のある空間」
6階	紳士服	「究極の癒しを演出する和空間」
5階	スポーツ、カジュアル、CD	「Room of Good Old Memories ～懐かしい思い出の空間」
4階	レディスファッションビューティ	「女性の美を追求する空間」
3階	レディスファッション	「女性がゆっくりリフレッシュできる空間」
2階	レディス、ファミリーファッション	「機能的で快適な空間」

④トイレ整備の成果（受賞・表彰）

- 2006年、内閣府が担当する平成18年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰において、「内閣府特命担当大臣賞」を受賞。
- 同年、東京都より「福祉のまちづくり功労者に対する知事感謝状」を受ける。

⑤多機能トイレ、乳児用設備の配置状況

施設・設備名	配置場所
だれでもトイレ	A館2・4・5階／B館2～8階
オストメイト対応設備	A館2・4・5階／B館2・3・5・7・8階
大きいおむつ替えベッド	A館2階、B館2・3・7階の「だれでもトイレ」内に設置
トイレひろば	A館8階、B館7階のトイレ
ベビーキープ (ベビーチェア)	A館2・4・7階、B館2～8階、C館2階の女性専用トイレ／A館2・5・7階、B館2・5・6・7・8階の男性専用トイレ
ベビーシート (おむつ替えシート)	A館2階、B館2～8階の女性専用トイレ／B館2・6・8階の男性専用トイレ／B館7階トイレひろば(お子様用)／A館3～8階、C館2階のトイレ前
ゆったりトイレ	A館8階／B館4～8階の女性専用トイレ／B館2・5・7・8階の男性専用トイレ

全館のご案内

各フロアをクリックすると、フロアの詳細がご覧いただけます。



図 3-3-1 京王聖蹟桜ヶ丘 SC フロア案内図

(2) 各フロアのトイレ紹介 (B 館京王百貨店)

①2 階トイレ (2002 改修)

◆2002 年度改修

◆フロア構成・特徴：レディス、ファミリーファッション

◆コンセプト：「機能的で快適な空間」

- ・ B 館 2 階はお客様の通行量が多く化粧室の利用頻度が高いため、多くの方が快適に利用できる機能的な空間を演出。また、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた「だれでもトイレ」に変更し、機能を充実させる。
- ・ また、男性トイレ内にもベビーベッドを設置し、お父さんもおむつ替えができるように配慮した。

○完成後の検討会での意見²：

- ・ 綺麗で、使い勝手が良い。
- ・ 男性トイレには、車いすでも入れる個室があるのが良い。
- ・ パウチを洗ったり、後処理の問題など使い良く出来ている。⇒写真①
- ・ 体のラインに合わせて洗面器がカットされているのが良い (素材が陶器でないので、冬場に体が洗面器に触れても冷たくない)。⇒写真②
- ・ 冬に体を洗うことがあるので、お湯が出るのはありがたい。
- ・ 着替え台が便利。⇒写真①
- ・ 荷物を置くスペースがある。
- ・ 明るい (明るすぎるという意見もある)
- ・ 男子トイレの入口は、白い壁と明るさによってコントラストがないので、クランクしている状態が認識できない。
- ・ 誘導サインがわかりにくい。
- ・ 紙巻器の上の棚はもう少し広い方が良い。
- ・ 便座後部の荷物置き場は、車いす使用者には不便。
- ・ 便器横の洗面器の配管隠しカバーが洗浄ボタンをわかりにくくしている。
- ・ 視覚障害者は紙巻器を起点に洗浄ボタンを探す。紙巻器周辺に洗浄ボタンが必要。
- ・ 洗面器は自動か手動かわかりづらい。



多機能トイレ内



写真①
汚物流し(左)と着替え台(中央)



写真②
体のラインに合わせてカットされた洗面器

² トイレユニバーサルデザイン会議 (2002.9 開催) 議事録 京王電鉄(株)より資料提供



女性トイレ入口から奥を望む



ベビーカーが入れる便房
(女性トイレ)



レイアウト図



車いすが入る広めの便房 (右奥)
(男性トイレ)



車いすが入る便房
(男性トイレ)



案内表示

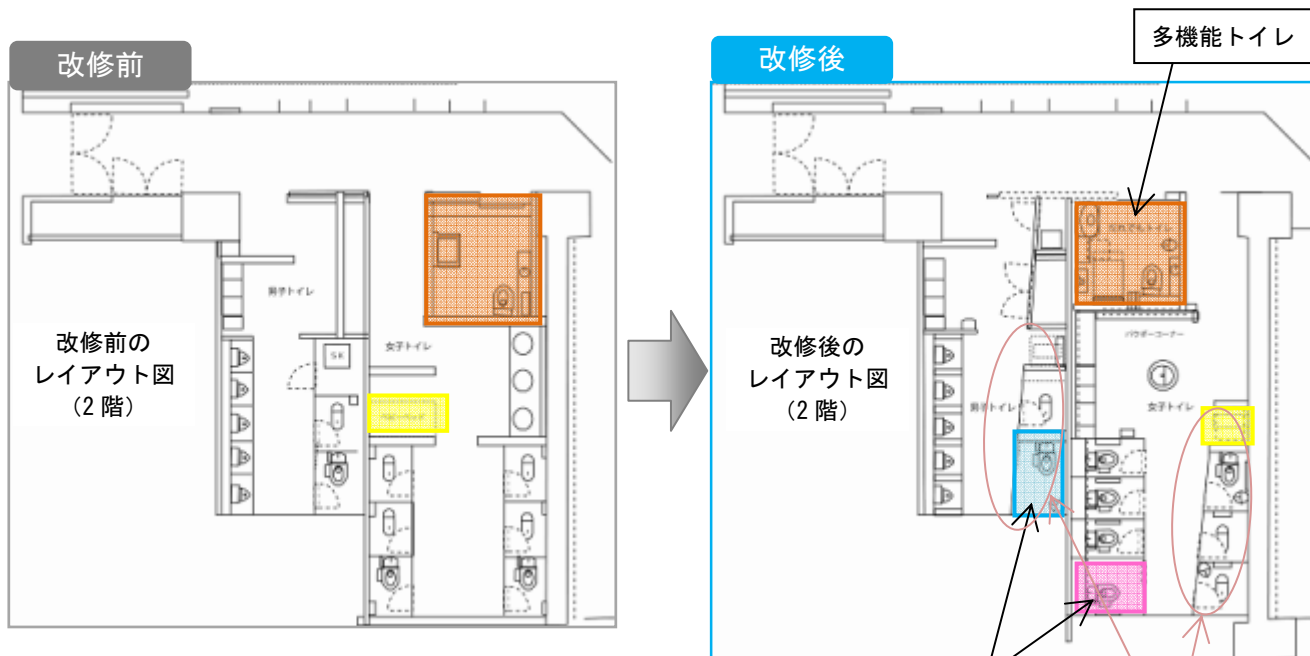


図 3-3-2 2階トイレのレイアウト図

広めのトイレ

多機能トイレ

壁面を斜めにするにより、奥に広いスペースを確保できるとともに、扉の開閉の状況が確認しやすくなる

②7階トイレ（2002改修）

◆2002年度改修

◆フロア構成・特徴：ベビー、子供服、おもちゃ

◆コンセプト：「夢・遊び心のある空間」

- ・少子化が進む日本社会で、少子化だからこそ子供に愛情を注ぐ家庭が増えている。当百貨店ではファミリー層が多く、そんなターゲット層を子供の視点から捉える試みや子供のトイレでの自立を促すような取り組みを実現する。
- ・B館7階はおもちゃ・ベビー用品売場に隣接しているため、子供を中心に家族が集う楽しい空間を演出すると共に、7階の回遊性・売上向上につなげていく。

○完成後の検討会での意見³：

- ・ 男性トイレには、介助が付けば車いすでも使える個室がある。
- ・ 雰囲気が楽しい。
- ・ パウチを洗う洗面器や着替え台があり便利。
- ・ 2階の男子トイレと比べ照度は落ちているが、全体的な空間の認識はしやすかった。
- ・ 子どもが楽しめるようなトイレで、利用しやすそう。⇒写真③
- ・ 誘導サインがわかりにくい。
- ・ 非常押しボタンの周りの赤いタイルが同系色の色味となり、非常押しボタンの存在がわかりにくい。⇒写真④
- ・ パウチ洗浄器があるだけで安心。
- ・ 折りたたみベッドが他の機能と干渉することはない。
- ・ ベビーチェアの取り付け位置はあまり良くない。
- ・ オストメイトの認知を高めるため、お湯が出なくても洗浄できればオストメイトのサインを付けても良い。
- ・ コントラストがないため、ゴミ入れに気付かなかった。



多機能トイレ内
介助者とともに車いす使用者がトイレ使用する場合、手前のカーテンを引くことで目隠しができる



接近しやすいようカーブをつけた洗面器



写真③
一般トイレの前にある子ども用トイレ：
左側におむつ替えの台、中央に男児用小便器、赤いドアの中は小児用大便器が配置されている

³ p III-183 の注釈 2 に同じ



写真④
中央は戸の開閉ボタン
右側は非常用ボタン



一般便房内（女性トイレ）



ベビーカーが入れる便房
（男性トイレ）



レイアウト図



案内表示



案内表示



案内表示



案内表示



案内表示

③3 階トイレ（2002 改修）

◆2002 年度改修

◆フロア構成・特徴：レディスファッション

◆コンセプト：「女性がゆっくりリフレッシュできる空間」

- ・B 館 3 階はミセスファッションフロアであることと回遊性に乏しいため、当百貨店のメインターゲットでもある女性に対してロイヤリティを感じてもらえるような豪華なパウダールームを取りこんだ女性専用化粧室に改修し、買い物の途中でゆっくりリフレッシュできる空間を演出。更なる買い物への意欲へとつなげる。
- ・パウダーコーナーは、“座ってゆっくりお化粧” “立ったまま姿見でお化粧” “カウンタータイプでお化粧” などバラエティ豊かにお客様にパウダーコーナーを選んでいただけるよう配慮した。

※当該トイレは女性向けのフロアということもあり、従前併設されていた男性トイレをなくし、女性専用トイレに改修するなど、利用特性に応じた整備を行っている。



レイアウト図



多機能トイレ内
便器にはオストメイト簡易型設備が
設置されている



多機能トイレ内
介助者とともに使用する場
合に配慮してカーテンが設
置されている



一般便房内（女性トイレ）



3種類のパウダーコーナー

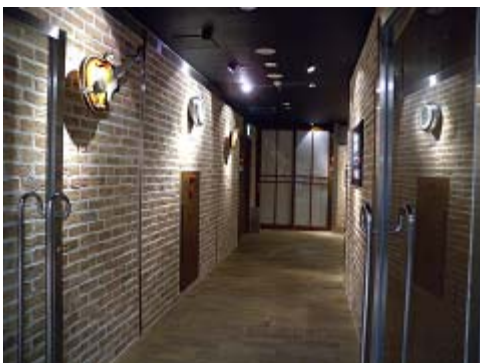
④5階トイレ（2003改修）

◆2003年度改修

◆フロア構成・特徴：スポーツ、カジュアル、CD

◆コンセプト：「Room of Good Old Memories ～懐かしい思い出の空間」

- ・カジュアルな売場構成であることと5階は意外と年配のお客様も多い。そこで、6階の「和」に対して若者から年配までのお客様まで楽しめる昔懐かしい「洋」の空間を造り、ほっとした空間の中にも昔のよい思い出を懐かしんでほしい。
- ・幅広い年齢層から支持を受けているものと言えば、ビートルズやエルビス・プレスリーを中心とした昭和60年代の誰もが懐かしむイメージだろう、50年代、60年代のイメージと音楽により、商業施設において唯一、一人になれる空間で懐かしい思い出と共に‘ほっと’したひとときを感じていただき、居心地の良い空間につなげていく。



トイレ入口へのアプローチ：
50年代、60年代の欧米をイメージさ
せる空間の演出



トイレ入口：
この空間だけは、50年代、60年代の
BGMが流れている



案内表示



トイレ内（女性トイレ）



一般便房内（男性トイレ）



案内表示



多機能トイレ内、オストメイト用の汚物流しを設置



汚物流し

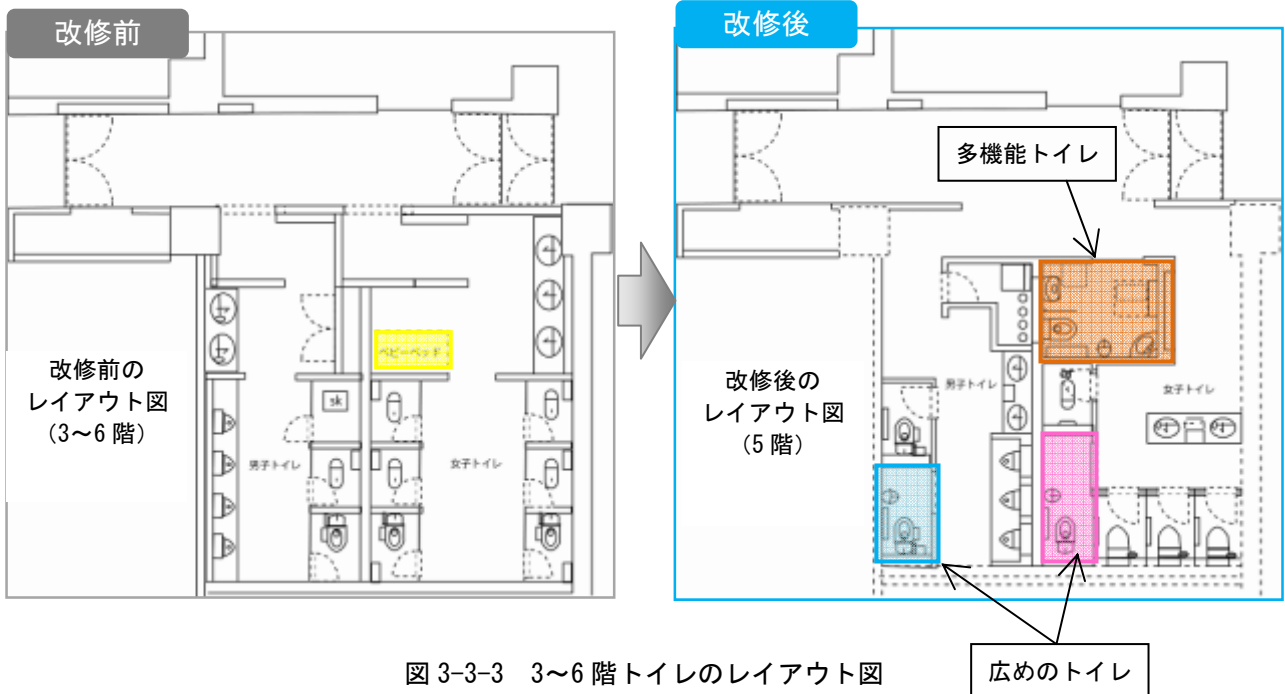


図 3-3-3 3~6階トイレのレイアウト図

⑤6階トイレ（2003改修）

◆2003年度改修

◆フロア構成・特徴：紳士服

◆コンセプト：「究極の癒しを演出する和空間」

- ・現在の日本は経済不況、労働環境の激変、将来、情緒不安・・・などの明るい要素は見当たらない。このような時代は人々は「刺激」ではなく「癒し」を求める。
- ・癒し的手段は様々あるが、そのアプローチとして最もわかりやすいのは日本の伝統（伝統的な生活の記憶）である「和」だ。つまり、「懐かしさ」に惹かれる時代である。
- ・そこで、日本人としてのアイデンティティを再認識しようとの試みをトイレで実現させる。



案内表示

和風をイメージしたトイレは年配の男性客に人気あり



多機能トイレ内



ベビーカーが入れる便房
(男性トイレ)



半個室の男性用小便器

⑥8階トイレ（2003改修）

◆2003年度改修

◆フロア構成・特徴：レストラン

◆コンセプト：「至高の素材を楽しむ空間」

- ・B館8階はレストランフロアであることから、「素材感」と「清潔感」を前面に打ち出し、当百貨店客層に合うやわらかいイメージの環境を演出すると共に幅広い客層を意識し、機能的にはシンプルな使い勝手とする。
- ・また、「友の会」の前面に位置するため、トイレ前通路において展示スペースを演出し、当百貨店の優良顧客である「友の会」の方々へのロイヤリティとして、デザイン的に優れた作品の発表の場を与えると共にトイレ前空間の向上を図るという相乗効果を狙う。

※作品については京王百貨店「友の会」に優れた空間になるよう厳選してもらう。



多機能トイレ内（女性トイレ）



天井に吊るされた
LED 案内表示



一般便房内（男性トイレ）



トイレの入口の
案内表示



各フロアに設置された
多機能トイレ等の案内表示

⑦4階トイレ（2005改修）

◆2005年度改修

◆フロア構成・特徴：レディスファッションビューティ

◆コンセプト：「女性の美を追求する空間」

- ・いくつになっても美しくありたいと願っている女性に対して。当百貨店に出店しているテナントの化粧品を自由に試供していただき、女性の美を追求する空間を演出する。また、合わせて化粧品のショーウィンドーで商品の紹介をお客様のアピールすることにより、購買意欲の向上につなげていく。
- ・空間は宮殿の一室をイメージさせる構成とし、こどもの頃に憧れていたおとぎ話の主人公になったような感覚を感じていただけるような演出を試みる。

※当該トイレは女性向けのフロアということもあり、従前併設されていた男性トイレをなくし、女性専用トイレに改修するなど利用特性に対応した整備を行っている。



案内表示



売場から女性トイレへのアプローチ



一般便房内（女性トイレ）



多機能トイレ：
案内表示

多機能トイレ内部：左側に折りたたみ式のおむつ替えのシート、
右側にベビーチェア・便器・洗面器



女性トイレ内にテイastingコーナー
一等を設け、くつろぎの空間を提供



トイレ内に商品を
ディスプレイ



多機能トイレ内の洗面器

⑧ 8階トイレ（2006改修）

◆2006年度改修

◆フロア構成・特徴：レストラン

◆コンセプト：「アヴァンギャルドとクラシシズムの融合」

- ・レストランリニューアルコンセプトに合わせ、シンプルでありながら斬新な演出と個性的なアイデアで上質感を表現。同じフロアにある「至高の素材を楽しむ空間」とは違うアプローチで、ワンランク上の自分を表現させてくれるデザイン演出を試みる。「BLACK」と「RED」を基調としたシックな空間の中に、薔薇、光、鏡、光るボディピクト、盆栽・・・の個性的なアイテムを融合させ、新たな（WATER CLOSET）を提案。



ベビーカーが入れる
トイレの案内表示

ベビーカーが入れる広めのトイレ（女性トイレ）



薔薇を床に埋込み
トイレ空間を演出



女性トイレの入口前に設置された
おむつ替えの台



男性用小便器

3-3-3 イオンレイクタウンにおけるユニバーサルデザイントイレの取り組み（建築物）

（1）施設概要

- ・ イオンレイクタウンは、独立行政法人都市再生機構が開発した新しい街「越谷レイクタウン」の商業拠点であり、2008年5月にオープンした。
- ・ 「レイクタウンゲート」、「イオンレイクタウンmori」、「イオンレイクタウンkaze」、「Lake Town OUTLET（2011 オープン）」の商業棟が連続して構成され、JR 武蔵野線越谷レイクタウン駅に「レイクタウンゲート」が近接している。
- ・ 総敷地面積は 33 万㎡、総延床面積は 39 万㎡、商業床面積は 24.5 万㎡、710 店舗、駐車台数 10,400 台の日本最大級のショッピングセンターである。
- ・ 「人と自然に心地いい」をコンセプトに、環境に配慮した施設づくり、ユニバーサルデザインを積極的に取り入れた施設づくりを実現している。



図 3-3-4 イオンレイクタウンの全体図

（2）ユニバーサルデザインの取り組み

①取り組みの経緯

- ・ オープン前の 2005 年から 2007 年にかけて、他地域にある既存 6 店舗（イオンモール）において、累計約 3,000 人の来館者を対象とした施設利用満足度調査を実施した。
- ・ 田中直人摂南大学教授を中心とする「イオンレイクタウン UD 設計チーム」を立ち上げ、約 1 年間にわたりユニバーサルデザインの導入に向け、ハードからソフトまで幅広く検討を行った。越谷市の障害者団体、市民団体とタウンミーティングを行い、様々な意見をイオンレイクタウンのユニバーサルデザインの導入に反映した。
- ・ また、案内・誘導サイン等の設置位置や大きさ、見やすさ等に関して、モックアップ（実物大模型）検証会も実施した。

②ユニバーサルデザインのキーワード

- ・ 「迷わない」「疲れない」「使いやすい」「安心・安全」をキーワードとした取り組みを実施した。



図 3-3-5 イオンレイクタウンの安心・安全の取り組み例

③イオンレイクタウンのユニバーサルデザイントイレの整備

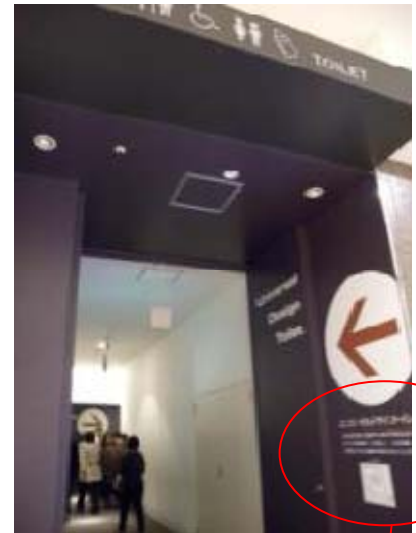
- ユニバーサルデザイントイレとは、「小さなお子様から高齢の方、お体の不自由な方まですべてのお客様が「より楽しく」「より快適に」利用いただける機能を充実させてトイレ」である。各フロアには、ユニバーサルデザイントイレを複数配置するとともに、その他のトイレにも多機能トイレがある。



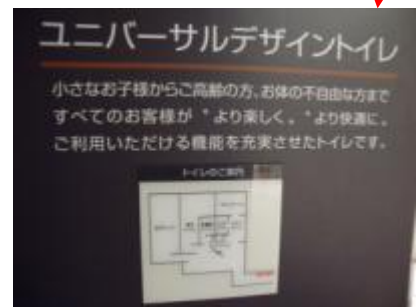
イオンレイクタウン mori 3F におけるユニバーサルデザイントイレの配置：フロア内の3か所に配置されている。

多様な利用者に配慮したトイレがあることが、わかりやすく色で表示されている。

(写真 TOTO COM-ET より引用)
mori 3F 中央フードコート裏



ユニバーサルデザイントイレの入り口

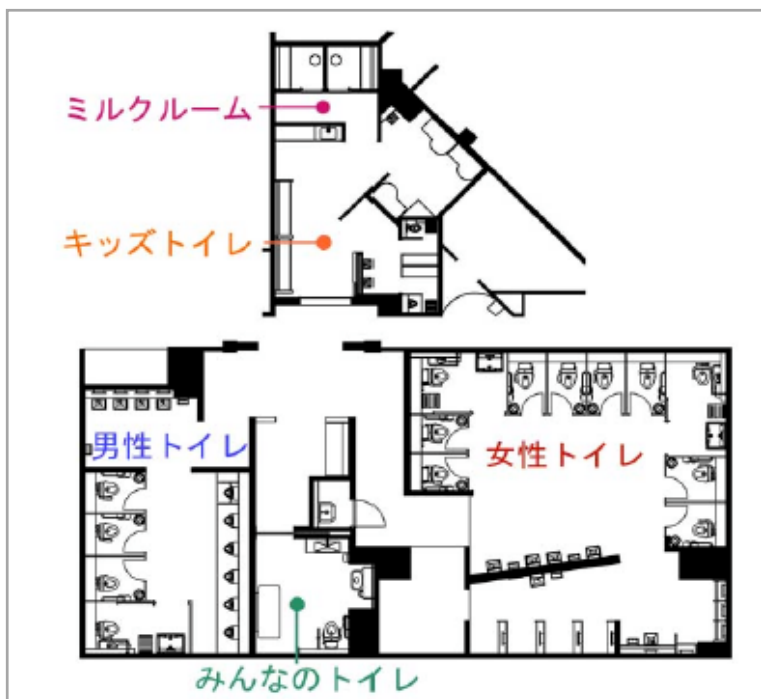


ユニバーサルデザイントイレの説明と配置図



④「イオンレイクタウン kaze」のユニバーサルデザイントイレの整備

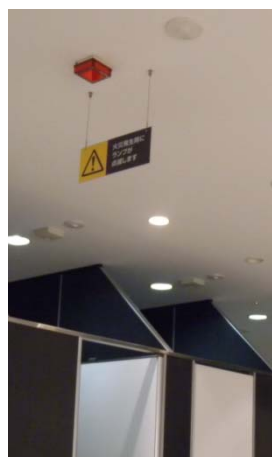
- ・ みんなのトイレは広いスペースに、汚物流し、大型ベッドを備え、介助が必要な障害者の利用等を想定したものとなっている。
- ・ 女性トイレ、男性トイレ内には引き戸の広々ブースを配置し、ベビーカーや車いすで入れる広さとし、おむつ替えのシート、着替え台を設置している。また、女性トイレでは、そのほか、オストメイトの簡易型設備を設置したブースを設けている。
- ・ 子ども連れに配慮し、ミルクルームとキッズトイレが併設されている。
- ・ さらに、聴覚障害者に配慮して、災害時に光るフラッシュライトを天井に設置している。



ユニバーサルデザイントイレの図面（TOTO COM-ET より引用）



ユニバーサルデザイントイレの入り口：トイレの入り口まで黒いラインを表示し、わかりやすく誘導している
（写真 TOTO COM-ET より引用）



聴覚障害者に配慮し、災害時に光るフラッシュライト



女性トイレ内には広々ブースなどが配置されている。
（写真 TOTO COM-ET より引用）



オストメイト対応ブースの扉表示：簡易洗浄であることが表示されている



ひろびろブース：車いす、ベビーカーが使える広さと、おむつ替えシート、着替え台を設置。扉横にわかりやすく表示している。



一般ブース：手すりとベビーチェアが設置されている。



みんなのトイレ：ゆとりあるスペースに汚物流し、大型ベッド等が配置されている。扉横には、トイレ内の設備を案内する音声案内が設置されている。



⑤ 「イオンレイクタウン mori」のユニバーサルデザイントイレにおける子ども連れへの配慮

- ・ ユニバーサルデザイントイレには、子ども連れへの配慮として、キッズトイレとミルクルームが併設されている。
- ・ キッズトイレには、幼児用小便器と幼児用の腰掛式大便器を設置している。
- ・ おむつ替えの台の他、「つかまりおむつ替え台」があり、子どもの年齢にあわせて選択が可能である。また、おむつを捨てるゴミ箱（ビニール袋も用意）とおむつ替えをした後に手が洗えるように洗面器が設置されている。
- ・ ミルクルーム内のキッズコーナーは、ベビーカーから降りた子どもが靴を脱いで遊べるスペースとしている。
- ・ 休憩を兼ねた授乳コーナー（男性も入れる）の他、個室タイプの授乳室（母乳の方向け）がある。



ミルクルーム内にあるキッズコーナー（3F）：靴を脱いで遊べるスペース（写真 TOTO COM-ET より引用）



ユニバーサルデザイントイレには、ミルクルーム、キッズトイレが併設される。



キッズトイレには、子どもが使いやすい高さ、大きさの便器や洗面器を設置。





通常のおむつ替えの台



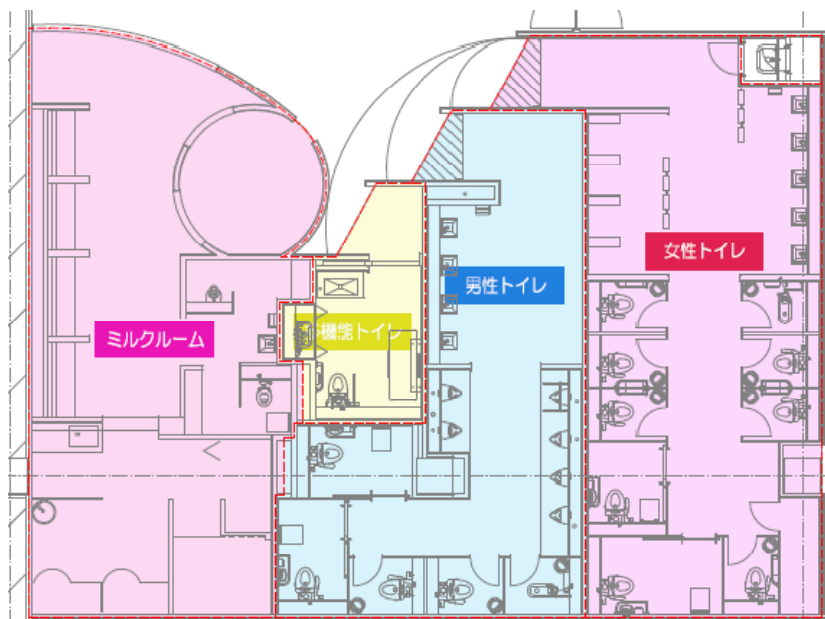
つかまりおむつ替え用のスペース：子どもが身長にあわせてつかまりやすいよう、高さの違う横バーにやわらかい素材でつかまりやすいように輪が取り付けられている。利用者から好評のおむつ替え用のスペースとなっている



おむつ替えの台のそばにある洗面器とゴミ箱・ビニール袋



個室タイプの授乳室



Mori 1F ユニバーサルデザイントイレの図面

⑥わかりやすい表示

- ・ トイレの外部において遠くから視認しやすい大きなピクトサインと、近づいたときにトイレ内部のレイアウトや設備がわかるサインを組み合わせで設置している。
- ・ また、白抜きのサインとすることで視認性を高めている。
- ・ 混雑するトイレには、他の位置にあるトイレの情報を提供している。



遠くから視認しやすい大きなピクトサインとその下にあるトイレ内のレイアウト図。ベビーカーが入れるトイレやおむつ替えシートがあることがピクトサインでわかる。



中央にある、混雑時に他のトイレへ誘導するためのサイン。現在位置と他のトイレの位置がわかりやすく表示されている



遠くから視認しやすい大きなピクトサインとその下にある多機能トイレ内の設備配置図。



文字による表示をすることで多機能トイレ内の設備をわかりやすく表示

3-3-4 新宿区戸塚地域センターにおける利用者の意見を踏まえたトイレの整備（建築物）

（1）取り組みの概要

①建設準備会における協議

- ・ 戸塚地域センター（敷地面積 502 m²、延べ床面積約 3,000 m²、地下 1 階、地上 8 階）は、高田馬場駅から徒歩 3 分に位置し、地域のコミュニティ活動団体の活動拠点であるとともに特別出張所が併設された施設である。この戸塚地域センターの新規建設にあたり、平成 17 年 9 月に地域の住民、学校や商店会などの関係組織、公募委員など総勢 35 名の建設準備会が発足した。戸塚地域は視覚障害者関連の施設が立地するなど、福祉に対する意識の高い地区であり、建設準備会にも、車いす使用者や視覚障害者が参加していた。
- ・ 建設準備会は平成 21 年 12 月の竣工までに延べ 21 回開催された。様々な意見がだされた中には、各階全てに多機能トイレが必要かという意見もあったが、今後の高齢社会を見通し、各階への多機能トイレの設置がなされることとなった。

②利用者の意見を踏まえた多機能トイレ等の実現

- ・ 基本設計後にバリアフリーに関する具体的な意見要望が 37 項目出され、そのうち、多機能トイレ等に関して 13 項目が提出された（③意見要望の抜粋を参照）。実現が困難であった「1 階多機能トイレの 24 時間使用」の他は、概ね意見・要望を踏まえた整備がなされた。
- ・ 結果として、以下が実現された。
 - 各階ごとに配置する設備（大型ベッド、汚物流し等）が異なる建物内の機能分散
 - 障害に応じたバリエーション（右きき用・左きき用、自動式・手動式引き戸）への配慮
- ・ なお、整備後には、視覚障害者より音声案内設備を設置して欲しいとの要望に対応し、1 階トイレの多機能トイレ内部に音声案内設備が設置された。

③意見要望の引用抜粋

	意見・要望	回答
トイレの基本的仕様と考え方	機能分散にあたっては、利用状況の障害及び属性を配慮しながら配置を行う。	機能及び配置については各階ごとに分散を図っている。
	一般便房においても基本的に手すりを設けること。また、利用人数が多く予想される階（7 階）には便房数を増やすこと。うち、ひとつの便房は外開きドア、ドア幅 70cm 以上とする。	一般ブースにも手すりを設置する。7 階はブース数は男女とも各 1 個ずつ増やしているが、スペースの関係上、外開きドアは難しい。（※折戸が導入されていた。）
	高田馬場周辺の多機能トイレ状況を鑑み、1 階トイレについては 24 時間利用できるようにすること。	施設管理上は地域センターの利用時間に準ずるため、24 時間の利用は不可能である。
多機能トイレの基本仕様	出入り口のドアは自動ドアとし、開閉ボタンはタッチ式ではなく押しボタン式とする。	職員の目がある階での自動扉の設置は可能であるが、自動によるスイッチトラブル等について検討する。
	便座横の手すりは可動式とし、各階ごとに左右異なるものを配置する。	便座横の手すりは可動式とする。各階ごとに左右異なる配置とする。
	ユニバーサルシート、ベビーキープ、幼児用便座、オストメイトの汚物流しの設備は必要な階に配置する。	オストメイト設備とユニバーサルシートとの併用はスペースの関係上難しいため、オストメイト対応は 1.5 階、ユニバーサルシートは地下 1 階、2.3.4.6.7 階に設置する。

(2) トイレの整備

①各階ごとに異なるトイレの整備

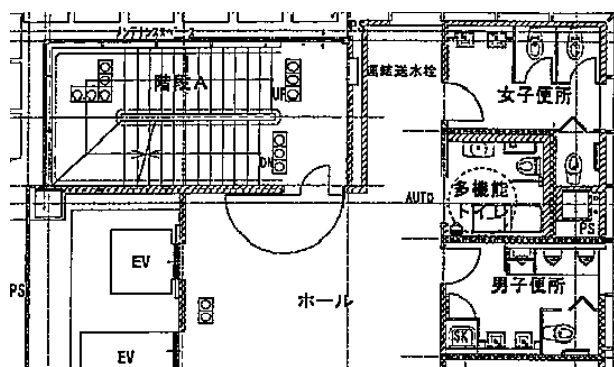
- ・ 各階ごとに異なる機能のトイレを配置している。
- ・ 各階の多機能トイレの情報は多機能トイレの扉横に表示されている。

各階の多機能トイレの設備に関する情報について、多機能トイレの扉横に表示。



②7階トイレ

- ・ 7階には多目的ホール（定員約 180 名）があり、一般トイレの便房数を増やしている。



多機能トイレは右利き用。自動式引き戸（7F多機能トイレ）

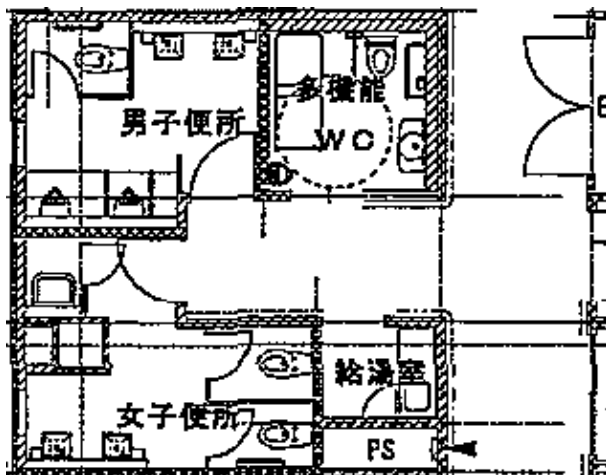


一般トイレの大便器への手すりの設置。扉は折戸。（7F女性トイレ）



オストメイト簡易型設備（7F多機能トイレ）

③6階のトイレ



多機能トイレは右利き用。手動式引き戸。
(6F多機能トイレ)

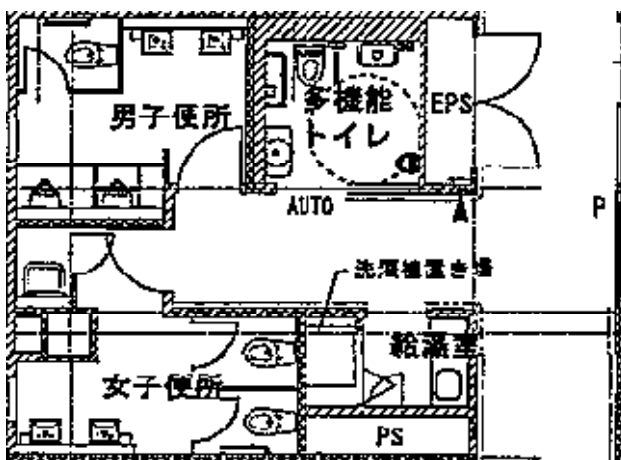


男性トイレ小便器への手すりの設置。(6F男性
トイレ)



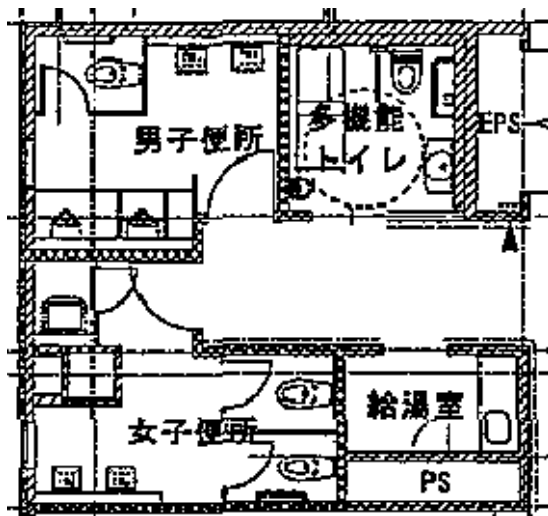
少ない力で操作可能な手動式引き戸の鍵。
(6F多機能トイレ)

④5階のトイレ



オストメイト用汚物流しが設置されてい
る多機能トイレ (5F多機能トイレ)

⑤4階のトイレ

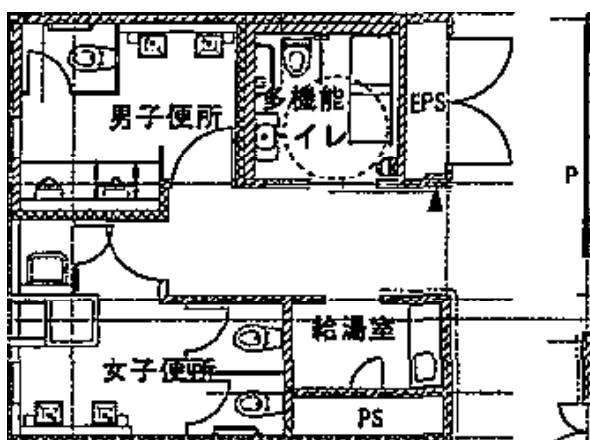


左きき用の多機能トイレ（4F多機能トイレ）
大型ベッドが設置されている。



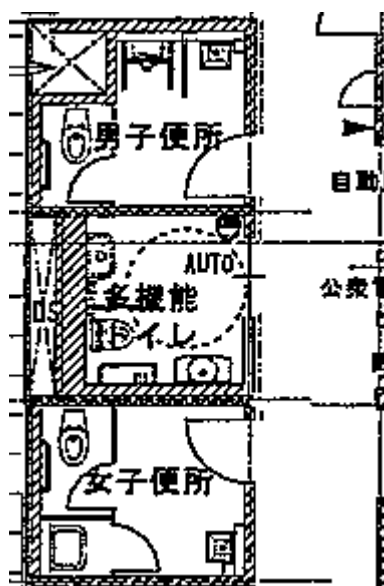
男性・女性トイレのドアが色でわかりやすく表示されている。多機能トイレの扉横には各階の多機能トイレに関する情報を表示（4Fトイレ）

⑥3階のトイレ

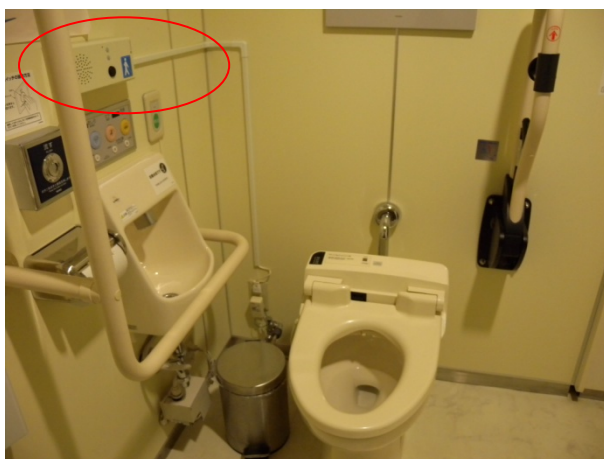


右きき用の多機能トイレ（3F多機能トイレ）
大型ベッドとベビーチェアは使用状態。

⑦1階のトイレ



1階多機能トイレ内部の音声案内設備:建物完成後に視覚障害者の意見を反映して後付けされたもの



多機能トイレは右利き用、オストメイト用汚物流しが設置されている。(1F多機能トイレ)

3-3-5 JR京葉線東京駅の改修例（旅客施設）

- ・ 1990年に京葉線開通時に整備されたトイレについて、2011年に全面改修した。

(1) 改修の主な特徴

- ・ 多機能トイレ内にオストメイト用の汚物流しを新設。（改良前はパウチ洗浄用水栓のみ）
- ・ 男性トイレ、女性トイレ内にベビーチェアを新設。
- ・ 男性トイレ、女性トイレに洋式便器を増設。
- ・ 女性トイレ内に広めのトイレを整備。（改良前も整備済）
- ・ 女性トイレ内に男の子用小便器を整備。（改良前に整備済）

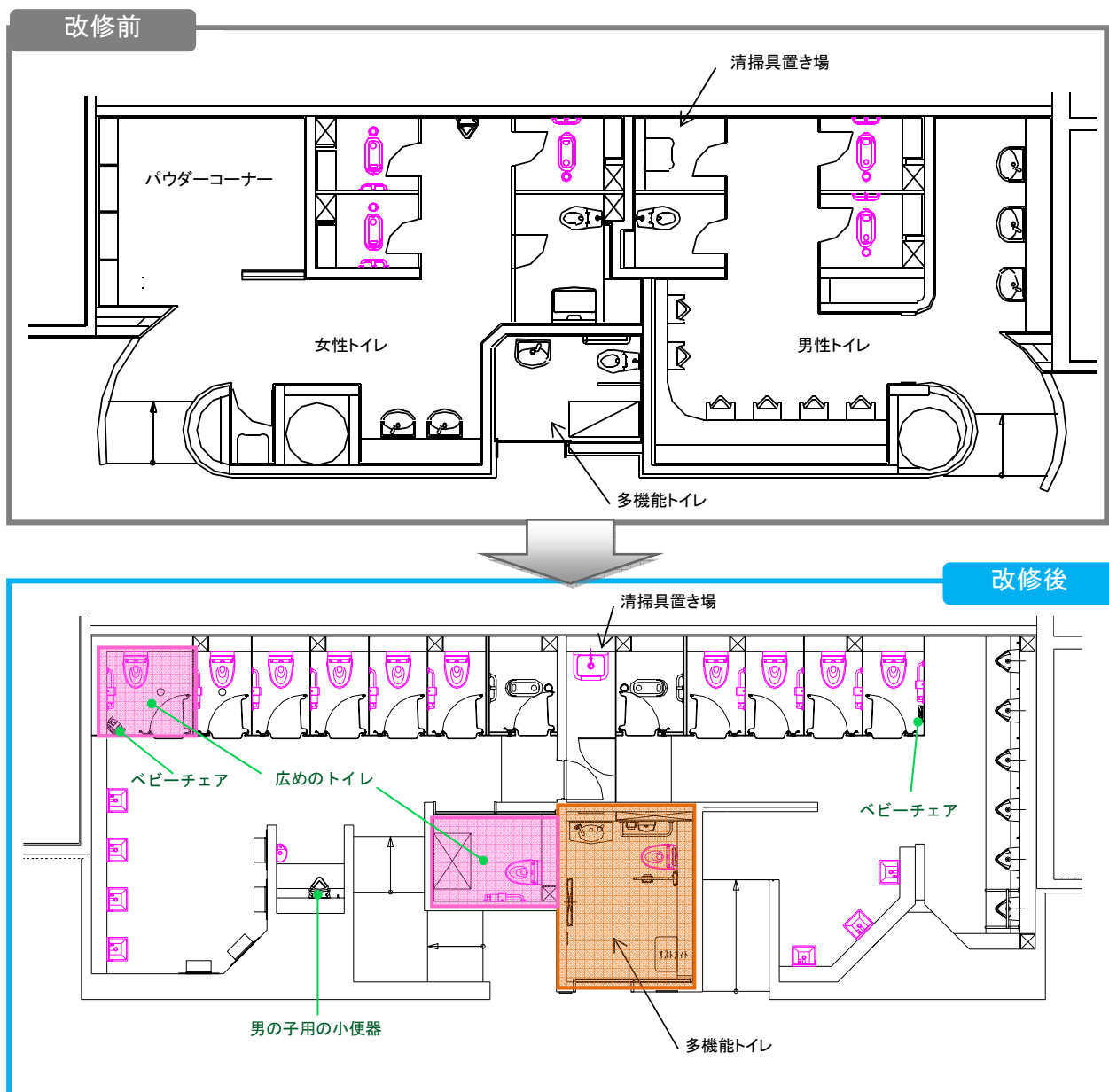
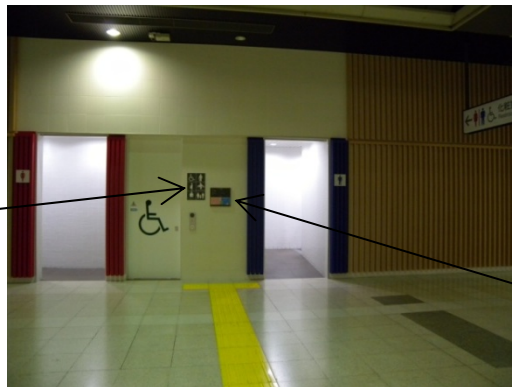


図 3-3-6 改修前後の図面

(2) 改修の状況 (写真)



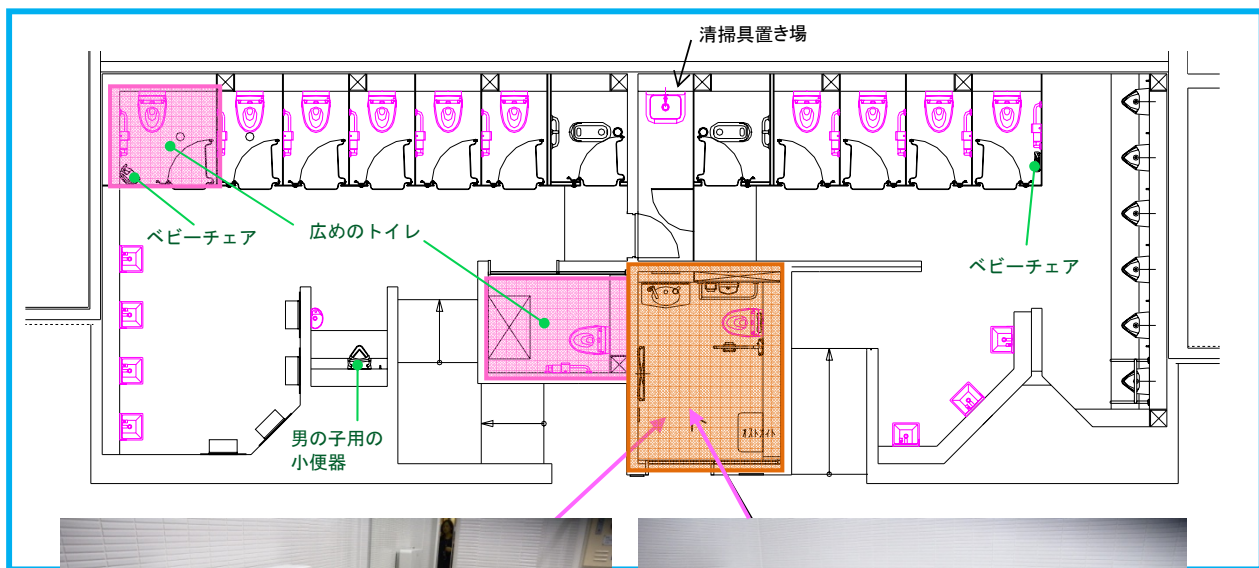
トイレは、京葉線ホームの上に位置する。



多機能トイレ扉の右にある表示

正面が多機能トイレ、右が男性トイレ、左が女性トイレ

トイレ内のレイアウト図 (点字表示)



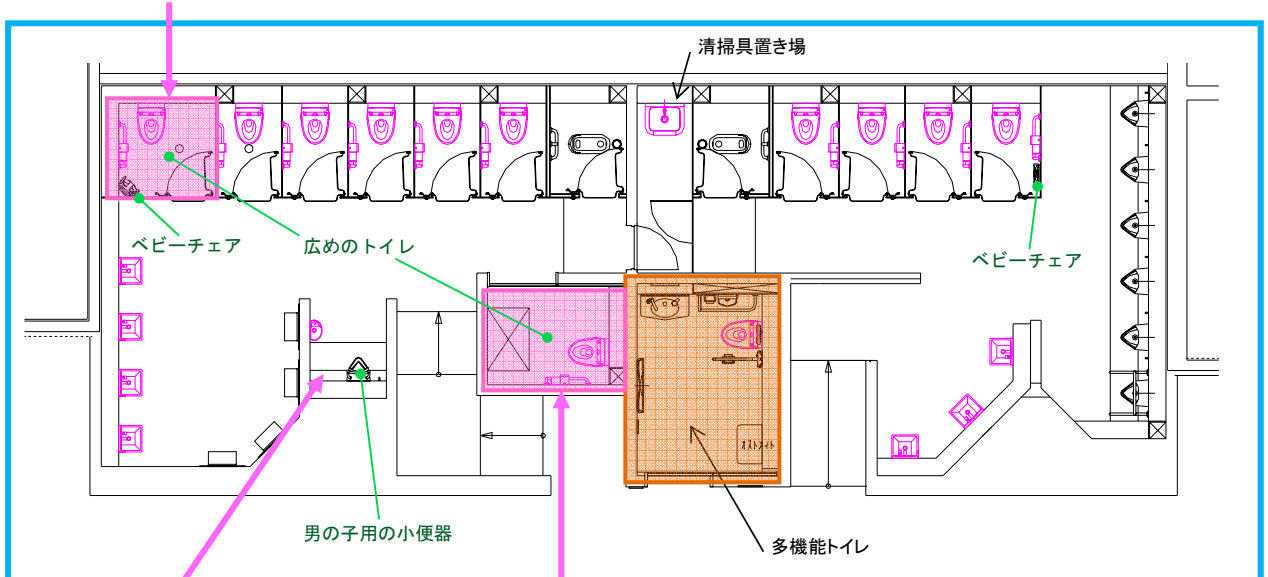
多機能トイレ内部：
おむつ替えシートと洗面台



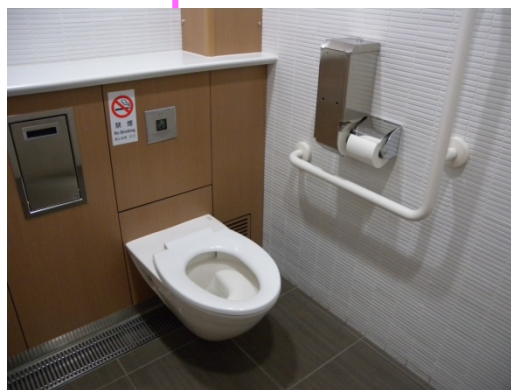
多機能トイレ内部：
オストメイト用汚物流しなど



女性トイレにある広めのトイレ：女性トイレ：扉が閉まると扉に設置されたサインで内部の設備を
ベビーチェアが設置 確認できる。大便器にはすべて手すりが設置されている



女性トイレにある男児用の
小便器と子ども用手洗い



女性トイレにある広めのトイレ：
ベビーカーごと入れる大きさと扉に
表示あり、扉は手動式引き戸



3-3-6 高速道路のSA・PAにおける利用分散の例

(1) 概要

- ・ 利用者数に応じた広さを確保している。（「(2) 利用者数に応じた広さの確保」参照）
- ・ 多機能トイレには汚物流しを設置せず、大型ベッドを備えている。
- ・ 多機能トイレの基本機能に子ども連れ配慮を行った「ファミリートイレ」を多機能トイレに加えて配置している。
- ・ 「オストメイト対応ブース」として、汚物流し、着替え台、洋式便器を備えたブースを、一般トイレ内に配置している。
- ・ 介助を必要としない車いす使用者や子ども連れ等が利用可能な「大型ブース」を、一般トイレ内に配置している。
- ・ 一般トイレでは、洋式便器、手すりはもちろんのこと、ベビーチェアを設置しているブースも一部ある。

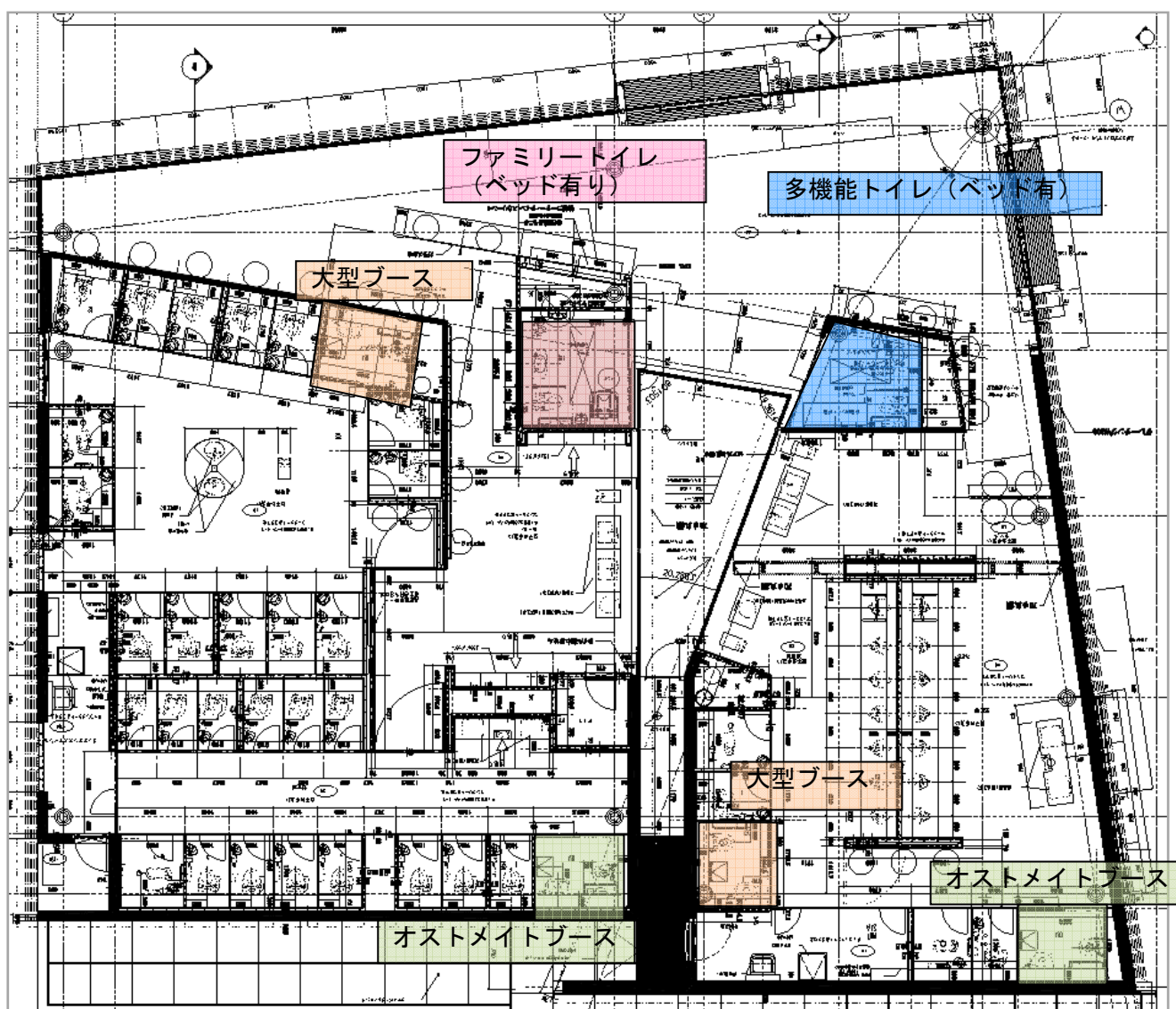
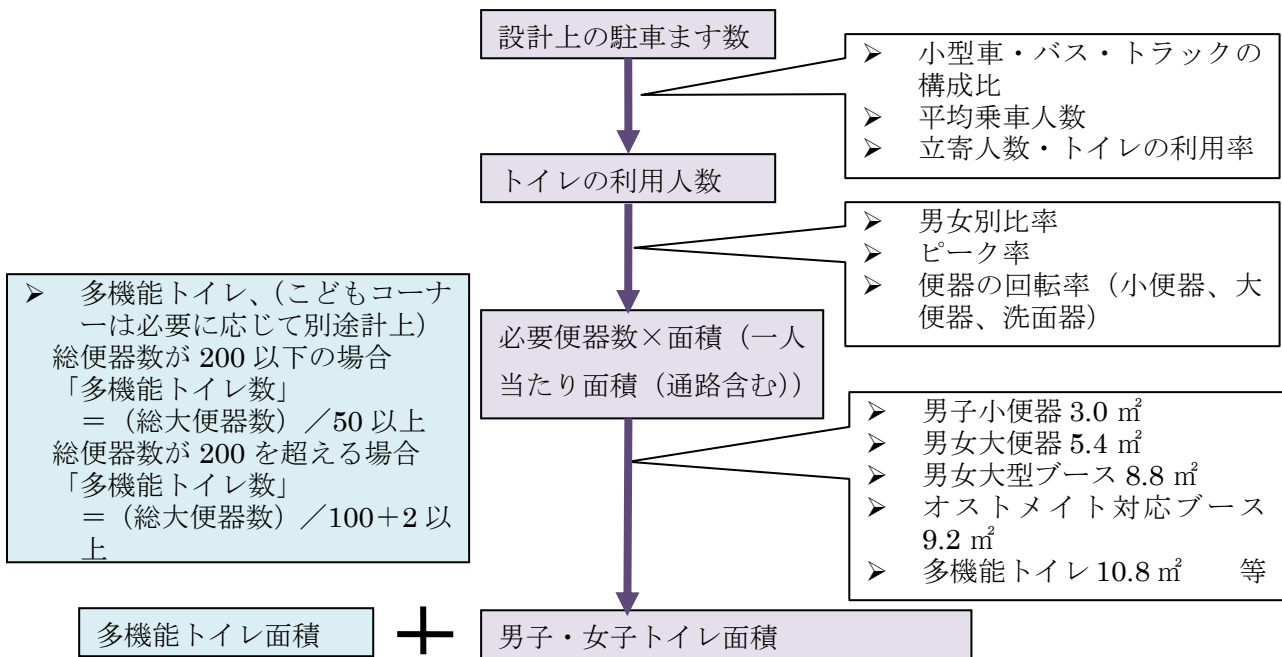


図 3-3-7 清水 PA における一般トイレ内への大型ブース、オストメイトブースを配置した例

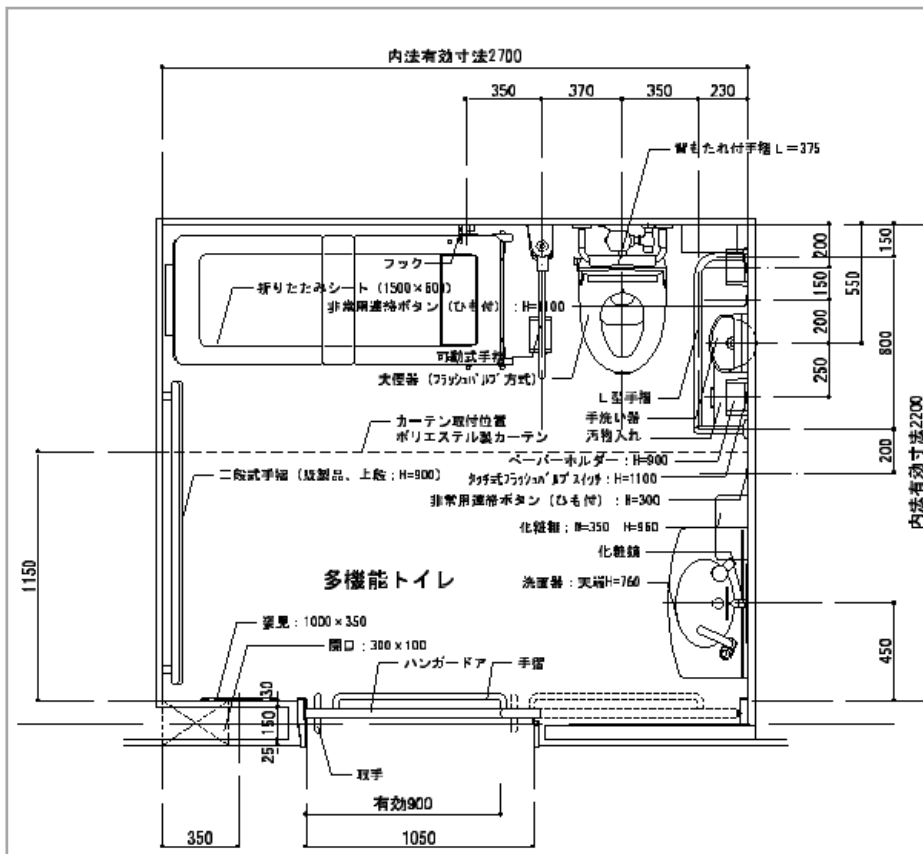
(2) 利用者数に応じた広さの確保 (算定ノウハウ)

- ・ 駐車台数から利用者数・便器数・必要面積を算定する要領を確立している。
- ・ 算定は以下にて行われる。

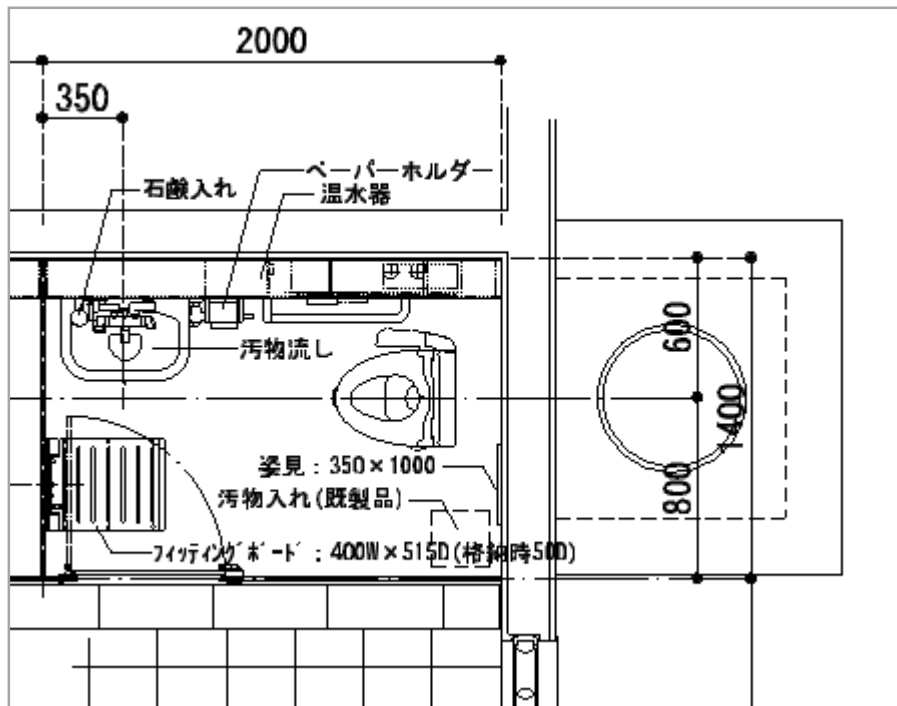


(3) トイレの標準図

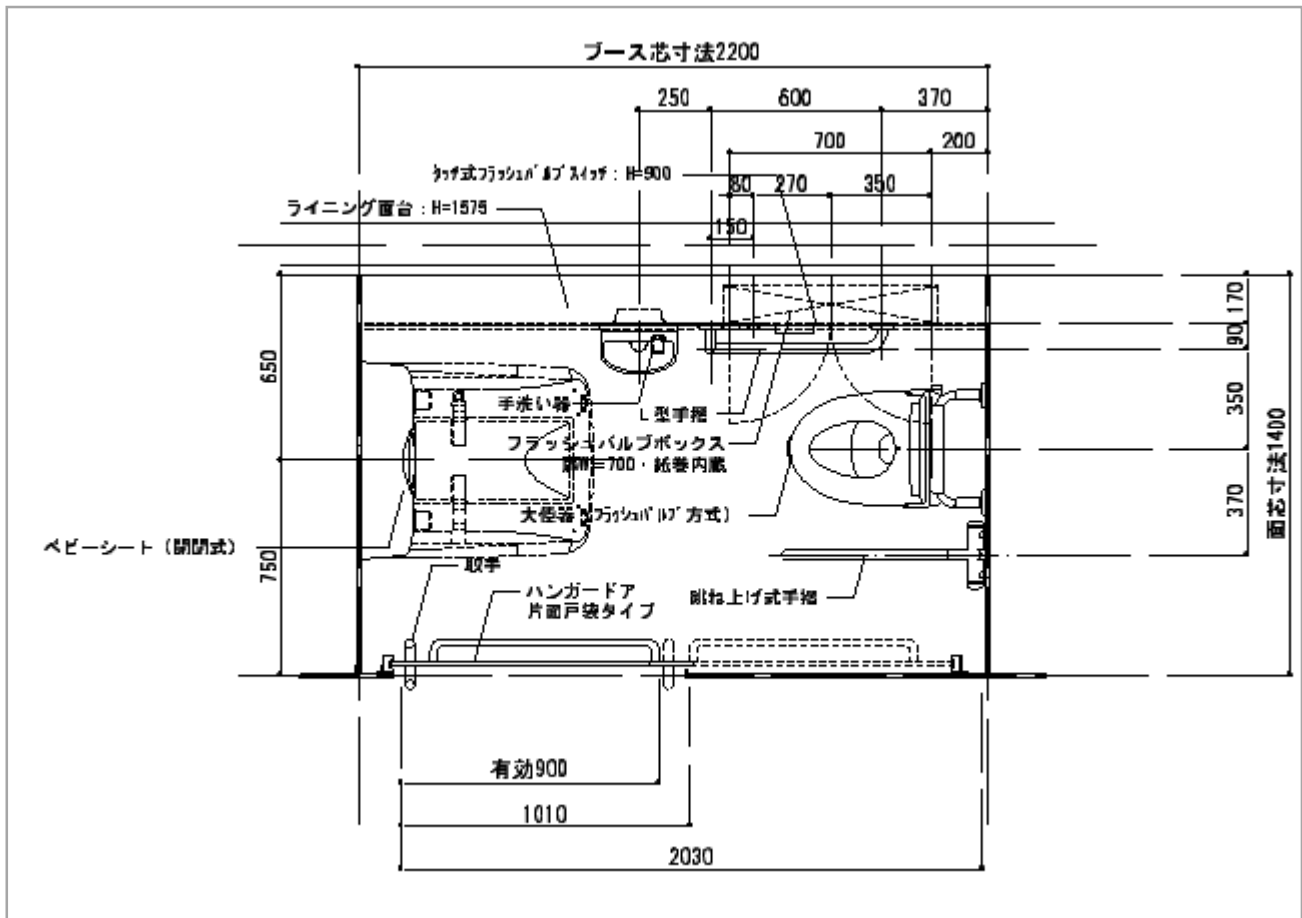
①多機能トイレ (出入口便器前方タイプ)



②一般トイレ内 オストメイト対応ブース

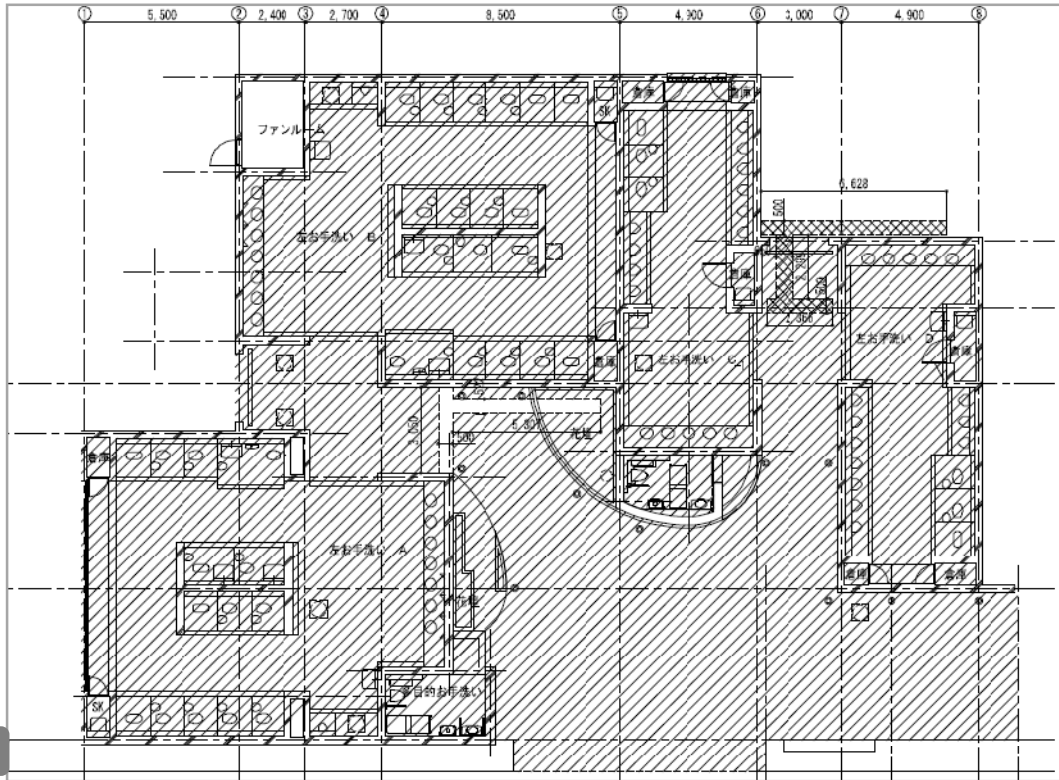


③一般トイレ内 大型ブース



(4) 海老名サービスエリアにおける整備

①海老名サービスエリア（下り）小型車側トイレの改修前と改修後



改修前

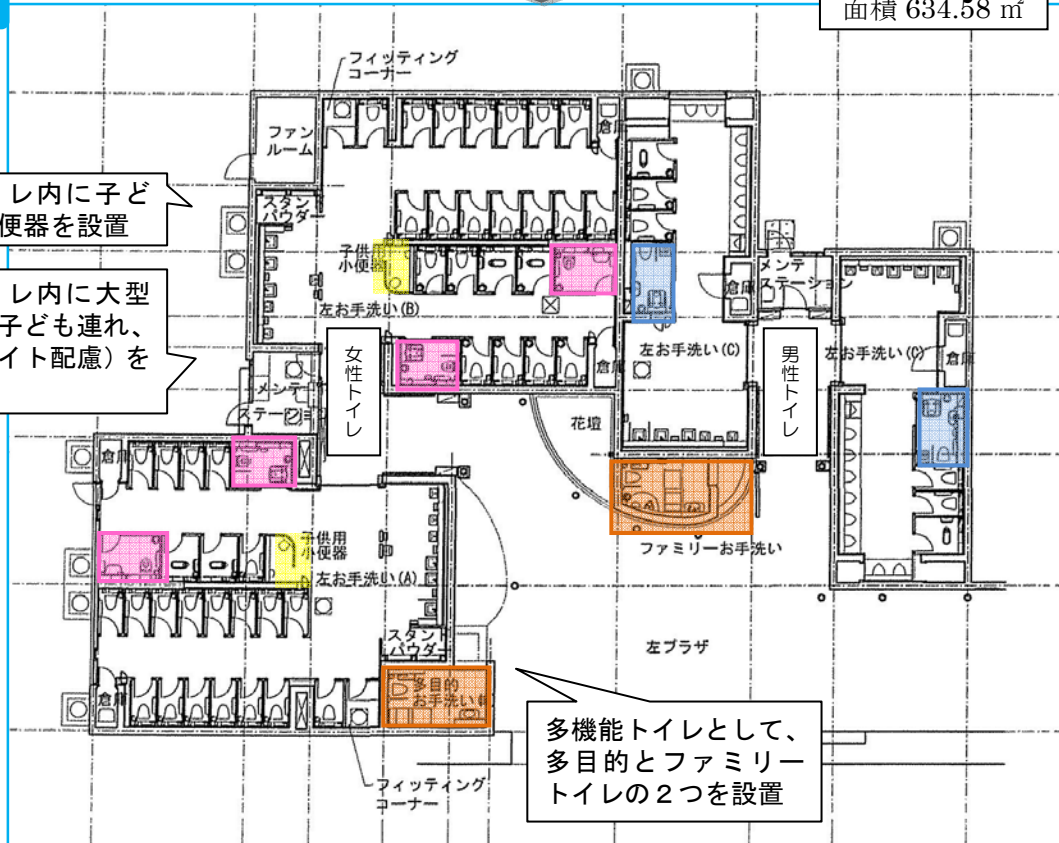
改修後

面積 634.58 m²

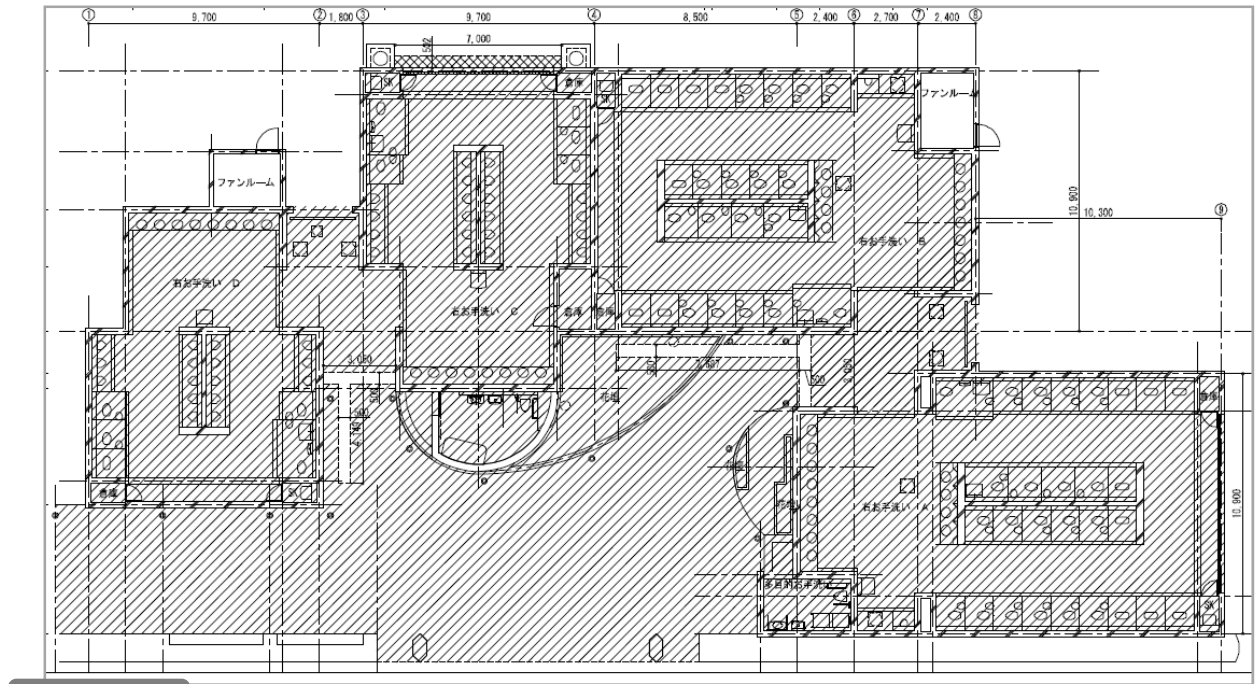
女性トイレ内に子ども用の小便器を設置

男女トイレ内に大型ブース（子ども連れ、オストメイト配慮）を複数設置

多機能トイレとして、多目的とファミリートイレの2つを設置



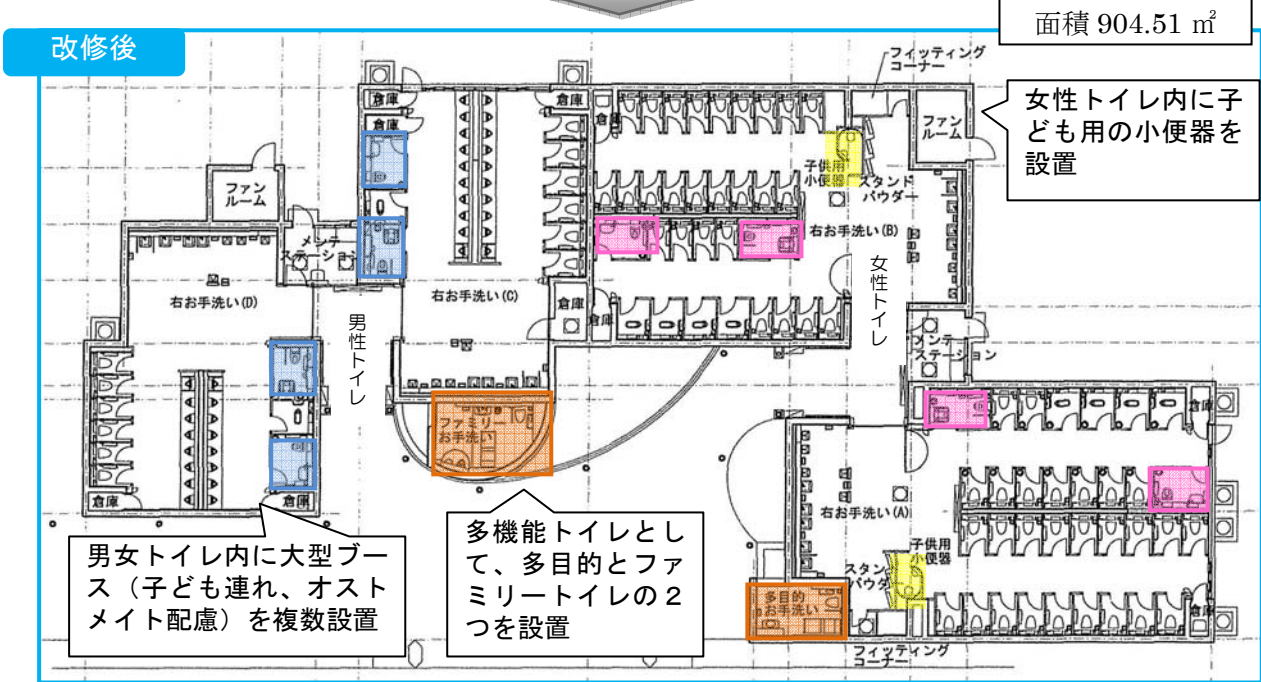
②海老名サービスエリア（下り）大型車側トイレの改修前と改修後



改修前



改修後



③改修前、改修後の便器数

	共用		男性トイレ内						女性トイレ内				
	多目的トイレ	ファミリートイレ	男性合計	小便器	洋式大便器	和式大便器	大型ブース	オストメイト対応ブース	女性合計	洋式大便器	和式大便器	大型ブース	オストメイト対応ブース
小型車側 改修前	1	1	26	20	4	2	0	0	32	21	9	2	0
(+21) 改修後	1	1	25	17	4	2	2	(2)	48	40	4	2	2
大型車側 改修前	1	1	46	36	6	2	2	0	52	35	15	2	0
(+21) 改修後	1	1	54	36	12	2	2	2	65	53	8	2	2

()は大型ブースとの兼用

④事例写真

<多機能トイレ>

- ・ 多機能トイレには汚物流しを設置せず、大型ベッドを備えている。



写真：多機能トイレ

<ファミリートイレ>

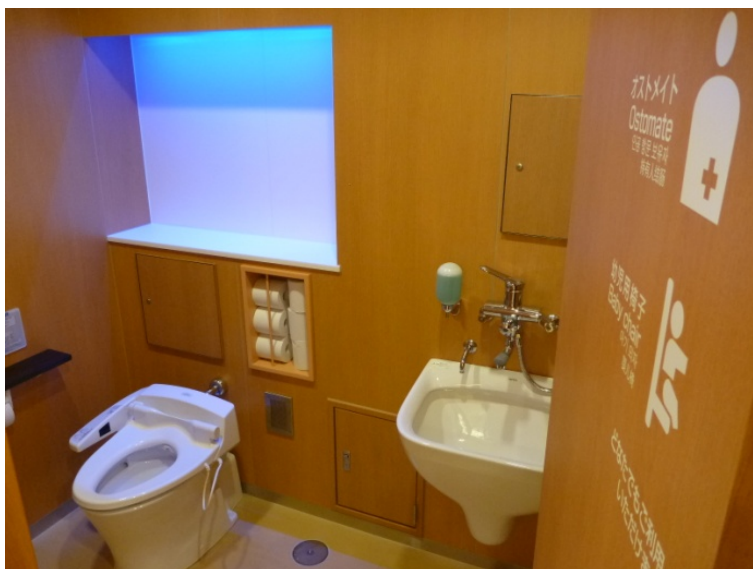
- ・ 多機能トイレの基本機能に子ども連れ配慮を行った「ファミリートイレ」を多機能トイレに加えて配置している。



写真：ファミリートイレ

<オストメイト対応ブース>

- ・ 一般トイレ内に配置されている「オストメイト対応ブース」



写真：オストメイト対応ブース

<大型ブース>

- ・ 一般トイレ内に配置されている「大型ブース」
- ・ 子ども連れへの配慮として、ベビーカー、着替え台、おむつ替えシート、子ども用便座が設置されている。
- ・ 車いす使用者も利用可能である。



写真：大型ブース

<大型ブース：オストメイト兼用>

- ・ 一般トイレ内に配置されている「大型ブース」にオストメイト対応（汚物流し）を付加したもの。
- ・ 基本的にはオストメイト専用ブースを男性・女性トイレ内にそれぞれ設置することとしているが、スペースがない中、工夫して兼用として設置。
- ・ 車いす使用者も利用可能である。



写真：大型ブース、オストメイト兼用

<一般ブース>

- ・ 一般トイレの洋式便器にはすべて手すりが設置されている。
- ・ そのほか、杖をかけるフックや子ども用便座が設置されている。



写真：一般ブース

<和式ブース>

- ・ 和式のトイレに対するニーズはなくなることから、和式ブースを用意している。
- ・ 手すりとベビーチェアを設置。



写真：一般ブース

<男性小便器>

- ・ 低リップ型の小便器
(子どもでも利用可能)
- ・ 手前の小便器には手すりを設置。



写真：男性小便器

<洗面器>

- ・ 洗面器のうち、1か所には手すりを設置。
- ・ また子ども用に高さの低い洗面器を設置。



写真：洗面器